滿洲日報

白地レース付　六圓內外
博多地衛荷色　八圓內外
本號珀リボン付　十二圓
白麻メリヤス上下　四十一圓
絹網半袖シャツ　三圓

紹更紗千タイ
羽二重仝
浪花簾縫模様入
仝山水畫入
扇風器

赤酒味噌
梅干正十二貫入　一圓八十錢
醬油極上一斗入　二圓八十錢
仝二斗一升入
魁酢一斗入　三圓五十圓

清酒稻正宗四樽入　八圓
エビスビール四打入　四圓五十錢
平野水仝　四圓五十錢
京印醬油一斗入上　二圓

花莚四十碼　十六圓
ゴム合羽　九圓十錢
ゴム沓　四圓四十錢
雨傘　三圓五十錢

二間板八分　十三圓より
仝並一寸　十八圓五十錢より
仝正一寸　十二圓より
大貫上　八十錢より
並

九太一間末口二寸　六圓
仝二寸五分　八十錢
仝三寸　三十錢
仝三寸五分以上才　三十錢

特別廣告

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告

營口出帆
●高砂丸　八月三日出帆　太沽、芝罘、長崎、門司、神戸行

大連出帆
●橫濱丸　八月十一日午後二時出帆
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店　旗昌洋行（電話二六番）

大阪商船株式會社
營口汽船出帆廣告

●盛航丸　八月八日入港

代理店　遠來洋行（營口怒溝地溝　電話二十三番）

瀛船州帆廣告

●大龍丸　八月三日　天津行
●仁壽丸　仝四日　芝罘行
●鷹取丸　仝四日　門司神戸行
●摩耶山丸　仝四日　仝

松茂洋行船舶部
海岸東稅關西　電話（五二五七）

朝日ビール、スペシャルライト
發價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五一二）

洋鐵鋼
麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、建築土工用具及船具類
其他諸機械ノ製作修繕

安東縣市場通七丁目
合資會社　秋田商會支店

安東縣東大街
合資會社　秋田商會支店

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

橫濱正金銀行牛莊支店（電話十番支配人室　百八番事務室）
橫濱、神戸、東京、長崎、大阪、倫敦、里昂、紐育、桑港、布哇、孟買、香港、上海、漢口、天津、北京、遼陽、芝罘、鐵嶺、安東縣

本紙代價	
一枚	四錢
一ヶ月前金	八十錢
一ヶ年仝	九圓六十錢
郵稅無料	

廣告料	
五號活字十九字詰一行	二十錢
四號活字十八字詰一行	三十錢
二號活字九字詰一行	四十錢

滿洲日報社　清國營口中盛街　電話二九番

正隆銀行

營業項目
一定期預金（長期存款）　三ヶ月 五分　六ヶ月 按年五分五厘　一ヶ年 六分
一當座預金（暫存款）　按年 四分五厘　日步 一錢二厘三毛
一小口當座預金（零碎暫存款）　按年五分一厘　日步一錢四厘毛
一送金爲換取組先（滙兌）　東京、橫濱、大阪、神戸長崎、上海天津の橫濱正金銀行本支店
一貸附金（放利）　一般財產並に土地建物の管理を引受くること　不動產抵當貸附金の委託を引受くること
一附帶ノ業務

軍政署認可

今般受入の手形は軍票及正金一覽拂手形勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣可相働候尙近々の內過爐銀の取引をも開始可致候

●ぬ號勸業貯蓄債券（五圓券）發賣
營口西北街第二百三十號（日本人會西隣）
支配人　深水十八（電話二百十番）

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿綵布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋燒火柴鐘表等類價值格克己並且貨眞價實以致敝行名譽增設立鐵道運輸營業以便貴客欲に辦運各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所に依り賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周群俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧局勝榮幸之至
總司理人　田中頼之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內　電話（店一八三番　住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉綵布疋火柴洋麵糖煤等貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼有輪船數艘多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚機租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是有
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運瀛船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各華北客經理有年誠信相孚遐邇知之
設在營口西北街路南　正理事潘玉田　副理事金德魁

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幫火輪船生意兼賣各幫洋什貨糧石等此僅
營口西大廟街路北警乙第十三號

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子羊絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國士布家綿自染決不退色倘亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街東櫃（電話九十五番）
西義順棧內西櫃（電話九十八番）

志岐組
本組開設營口綏定門外今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價值格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
本主人謹白

三井
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷
電話　第六十六号　第九十一号

倉庫部　經理

○發售新到洋白糖
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上流り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候

○明治火險公司（電話百二十八号）
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售　日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕平本行面議

三井洋行啓
啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨彙集資本浩繁有保險以維持之可以有特無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有郭漁笙朱斐章王鹿芹先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亨內面議可也

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於大數客惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己諸公賜顧請駕臨大德亨內面議不誤
王鹿芹　朱斐章　郭漁笙　仝啓

洋行　電話　第六十六号　第九十一号

●印判彫刻　●活版名刺　●各色印肉インキ附屬品一式　●ゴム印
各位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名到着候に付分店設立と同時に一層勤勉を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度候御報知次第店員參上仕候

刻字舖
尾崎洋行　營口永世街三十七号
尾崎洋行分店　奉天小西關大街二七八号南側

東省巡航公司業務廣告
本公司は牛家屯東稅關西稅關河北間に小蒸汽船ホチン號を往復せしめ牛家屯河北停車場發列車の連絡を取り旅客の迎送をなす
本公司は牛家屯營口河北間貨物の運搬及曳船の依賴に應す
御用の節は電話二百三十六番へ御一報煩度候
本公司乘船場は牛家屯停車場前棧橋東稅關棧橋西稅關東部にあり切符發賣所は各乘船場へ船中にて發賣す

賃銀

自＼至	河北	西稅關	東稅關
牛家屯	二十錢	三十錢	一十錢
東稅關	二十錢	二十錢	
西稅關	十錢		

回數切符は特に割引可致候

列車連絡時間表（日本時間）
稅關午前五時發　牛家屯六時三十五分發列車に連絡
仝午前六時發　河北七時發列車に連絡
東稅關午後七時四十分發　牛家屯九時三十五分の列車に連絡
牛家屯午前九時四十分發　牛家屯九時十分着の旅客を迎ふ
牛家屯午後八時四十分發　營口牛家屯間通勤諸士の營口歸りの便を計る
河北午後六時發　河北五時四十分の旅客を迎ふ

東省巡航公司謹白
營口元神廟街第五十五號　電話番號二百三十六番

牙大夫學士兒島醫院
DENTIST. Dr. KOJIMA.
●語日齒牙壽長●營口元神廟街
告白
啓者本院主從來於森醫院因治療從事則近時稍感狹隘今別卜居開院新式諸器械完備無遺憾專足於救治牙疼施術齲窩金銀充塡落齒補足妙技矣有齒牙疾患者希咀嚼快者欲皓齒金光燦爛美者速來知神秘妙執事

SP
糸平公司
本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品旣美價廉如蒙中外士商賜顧請至行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面色布疋各種綿布其他一切織物概行發賣並特約販賣正日光皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
朝日ビール特約大販賣
營口元神廟街南邊路西（電話百九十二號）

鐵道遼河　裕和盛運輸局（電話八十一号）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本号向在日本長崎設數十年開店於朝鮮國漢城仁川木浦馬山並營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船車今又承辦東清鐵道輸局代客裝運貨各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

徽州
怡昌祥茶號
本號專在徽州黃山採辦三十六峰雲霧仙芽名茶色香味與衆不同加工揀焙重習徽郡珠蘭不惜貲本以圖久遠凡貴商大寶號賜顧者請認明本号黃山圖記庶不致誤
怡昌祥主人謹白寓營口恆利德

日本官造紙煙專售告白
本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）蝸螞咧（軍旗牌）逢佔來福（雙仙鶴牌）利利（百合花牌）捷利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳大巴德（蝙蝠牌）等九種及煙絲各樣
東營口西北街（舊代代木公司）
日本官煙營口專賣處

丸重轉運行
啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷
營口西北街（電話八十號）
牛家屯車站（電話四十六號）
既設分局　遼陽、奉天、昌圖各車站

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至營口永世街
第五號門牌便是

青堆子
菅野玻璃廠
玻璃器仕遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟盞凡所有玻璃器什類概發賣價值公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

志岐組木料棧
材料出售
啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克己凡中外士商光面議顧請到本棧

●銃砲火藥販賣業
本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需整發售如蒙中外紳商賜顧者請到本行面議可也
官許商　秀清洋行　鐵嶺東門大街

東京電報

●新艦鹿島の入港（一日發電） 廻航新造軍艦鹿島來る四日横須賀入港の豫定なり

●新總長の訓示（同上） 新參謀總長奧大將は前總長の遺法を踏襲し部員の援助により遺算なきを期する旨を部員に訓示せり

●日米電報開始（同上） 日米直通電報は今一日より開始せり

●港務部長會議（同上） 遞信省は近日全國港務部長諮詢會議を開くべし

●東京公債の好況（同上） 倫敦にて賣り出されたる東京市公債は市場好況なり

北京電報

●各國公使の忠告（一日發電） 駐清各國公使は各省の匪亂鎭滅を外務部に忠告せり

●林氏の袁督訪問（同上） 新任林公使天津に袁總督を訪ひ長時間會談を爲したり

●長春開市の要求（同上） 日本は公主嶺鐵道受領後直に長春の開市をも請求したり

遼陽電報

●遼陽知州の更任（二日午後二時八分特置通信員發） 今回突如現遼陽知州鮮氏は彰武縣へ彰武縣知縣周氏は遼陽州知州へ更任の急命により前知州鮮俊英氏は急遽任地へ出發す其更任の原因に就き種々の風說を傳ふる者多し

鐵道受領特派員電報

●委員一行の歸着（二日午後六時三十二分鐵嶺發） 受領委員中村少將一行唯今歸着せり

●露軍未知の美事（二日午後八時二十四分鐵嶺發） 昨年一月我左翼軍永沼枝隊敵地深く猛進范家屯附近の橋梁破壞の時奮鬪戰死せる二將卒を厚く葬りありたり此美事世間未知に屬す

一行若熱而を以て忠魂を弔ひ墓側にて撮影紀念を留む予は之を天下に告ぐる光榮を有す

城電

●露領事來着聲明（一日發電） 統監府は露國總領事プランソンの日本政府の承認を經ずして京城に來着の旨を韓國政府に聲明せり

倫敦電報

●革命兩黨の提携（七月卅日發電） 露國勞働党及社會党は相提携するに至り廣く宣言書を配布し軍隊に勸誘する人民の味方たるべきことを以てしつゝあり

●不隱警報頻々（同上） 露國の運命を左右すべき爭鬪將に起らむとし全國各地より不穩警報頻々として到る

●又々ワ府の襲擊（同上） 革命者はワーソー府に於て再び滊車を襲擊し十萬ルーブルを奪ひ去れり

雜報

●半島の馬賊（金州管內馬賊詳報） 由來關東洲金州管內は馬賊の出沒橫行せし土地柄なり而かも本年二月以來管內一帶極めて平穩なりしも今や恰も高粱繁茂の期に入りたるを以て彼等匪賊の跳梁するに最も適當の時機ならずんばあらず是を以て當局に特に牒者を放ち注意警戒を嚴にしつゝありき而して其後の情報に依るに陸上に在りては王老道、李大子、趙登喜、陳福太の徒は復州管內白山附近に集り海上に在りては宋寶慶、王仁癸、千長年、姜振東の輩は貔子窩附近に出沒せんとするものゝ如く現に本月に入りて左の如き被害あり

七月十五日約五十名の馬賊貔子窩管內鄭家屯に至り船二隻を强奪し海上遠くに去れり

七月十八日約五十名唐家房會の姜家隈子干家屯に襲來し土人二十三名を捕へ以て身代金と交換に三千八百圓を掠奪し去れり此の際唐家房駐在所巡捕一名輕傷を負ひたり

以上不穩の報頻々到る茲に於て此方面に於ける從來配置の警察官吏のみにては到底十分なる警戒を爲すこと能はさるを認め七月十八日金州より警察官吏の增遣を爲し殊に唐家房及揚樹底には多くの警察官吏を配置せり

附記 唐家房に重きを置きたるは一は貔子窩の前哨たらしむると同時に又一方には有事の際貔子窩、楊樹底、華家屯及長山寺方面に人員融通の便を圖りし爲なり

▲楊樹底方面の狀況 七月二十二日午前九時頃約五六十の馬賊は突然楊樹底に襲來す是に於て巡查鎌田勇右衛門氏は同地駐在所の巡查、巡捕等を指揮して之と應戰したるも衆寡敵せず遂に總員貔子窩駐在所に退却することに決し同十時半漸く貔子窩に達することを得たり當時の狀況を聞くに下の如し村落警邏中の巡捕は大勢の馬賊、西方より楊樹底方面に來るを偵知したるにより急を楊樹底駐在所に報せしかは鎌田巡查は直に巡查、巡捕六名を從へ騎馬にて事實を確かめんか爲同駐在所門前に出るや既に約五六十名の馬賊は其の前面の山上に雲霧の如く押寄せ來りたるを以て直に巡查、巡捕を督して應戰中巡捕姜忠玉は賊彈の爲め腹部に重傷を負ひ我防禦力を減することゝなれり而して賊は他の一群を以て背面山麓を南に進行しつゝあるを認め鎌田巡查は彼等の目的は必す貔子窩に在るものと爲し必死馬を驅りて貔子窩駐在所に急報せり

▲貔子窩當時の狀況 前項鎌田巡查の急報あると同時に警部齋藤金藏氏は在住日本人等を駐在所に收容し而して巡查牧野氏に巡捕二名を付し偵察の爲め市街西北方高地に到らしめたるに同地は既に賊の占據する所となり三十餘名の賊に射擊せられたるのみならず駐在所は時早くも既に重圍の中に在るを知り漸く飛彈の間を潛り駐在所に引返せり當時駐在所の現在員は巡查十三名巡捕十七名なりしも交通及連絡の爲め外出中の者あり署內には巡查十名巡捕四名のみなりしを以て一同死を決して以て同駐在所を固守せんと決し極力奮鬪せしも賊の勢猖獗にして一面は我に向て四方より猛火を集中し一面は市中の民家に亂入し火を放ち財を奪ひ暴行到らざるなし此の間前面の敵を引受け防戰中なりし楊樹底駐在所鎌田巡查は東側石垣に攀ち上れる賊の爲め狙擊せられ腹部に盲貫銃創を受け戰死し（零時三十分）後方防禦に從事したる楊樹底駐在所巡捕吳財祿は面部左方に銃創を受けたり（同午後一時半頃）（未完）

●製鐵會社計畫 東京及び大阪の有力なる實業家十數名發起となり過般來大連に一大製鐵會社を創立し鉄鋼軌道は勿論其の他汽船材料萬般の製造販賣を爲さんとの議あり右は近く開業さるべき南滿鐵道の便に依りて撫順、烟臺の炭坑を利用し一方には清國の冶鐵鑛の特約購買を開かんとする計畫にて資本金は差當り三千万圓餘とし創立の上は英米より四五名の製鐵技師を招聘する筈にて大體の計畫は頃日に至り漸く一段落を告げたるを以て近々二三の技師撫順、大冶兩地に向け實況視察の爲出發する由

●墨西哥移民大輸送 米國資本家の經營に成る墨西哥國コアウヰーラ州エスペランサス炭礦會社は過日大陸殖民會社に農夫千二百人、東洋移民會社に炭礦夫七百五十人、熊本移民會社に同上七百五十人輸入の契約をなし以上三會社は目下各地に於て募集中なるが東洋及熊本兩會社は運合の上、大陸は單獨にて何れも十月下旬サレラ、クルーズ迄直航船を以て大輸送をなす由、今後墨國に於ける本邦移民の成功に伴ひ兩國間の貿易も多少の發達を見るならん

●海外商工事務官 農商務省にては多年海外の重要市場は商工事務官を派遣し以て各種商工業の調査に從事せしめんとの宿望なりしが明年よりは是非とも之を遂行せんとし專ら技術官を以て之に充てたるが其等級は公使館二等書記官相當にて人員約十名に決し已に外務省との交涉も濟み居れば其の經費は明年度豫算に計上せらるべし

●南米の兩交戰國 南米のグワテマラ共和國及サルワドル共和國は目下交戰中なるが兩國はパナマ地峽に接しメキシコの南方に連なれる亞米利加印度人の共和國にして其組織及面積は左の如し

	面積（方哩）	人口（人）	財政（弗）	軍備
グ國	四八,二九〇	一,八四二,一三四	出三三,八〇〇,〇〇〇 入三〇,三一五,四一三	九三,九〇〇
サ國	七,二二五	一,〇〇六,八四八	出八,八一〇,〇〇〇 入八,八八六,八六七	二一,〇〇〇

●首相の廣軌主義 西園寺首相は此程往訪せる政友會某代議士に對し國有後の鐵道は必ず廣軌に改築せさるべからさると說き財政の許す限り先づ幹線より始むべき抱負なりといひ南滿洲鐵道も歐米式軌道を採用するの得策なるべきを仄めかしたりといふ

●臺灣富籤の餘弊 臺灣富籤發行の二三月前なる今日既に內地人又は同島日本人が支那人を介して申込めるもの多數あり爲めに額面には迚も購買すること困難にして支那人等に競賣を爲さんと企てつゝあり若し此勢ひにて進まば富籤發行の爲め日本人が支那人に中取せらるゝ歩合莫大の額に達し結局其利益恩澤に浴するもの只支那人のみに止まるべしとて憂慮する人あり

●造船規程の改正 我國造船及び航海獎勵法適用の基準法たる造船規定は世界の進勢に應じ近く之を改正するの必要あり遞信省管船局にては曩に今岡技師を歐米に派遣し之を調査せしめたる結果之を原案とし民間の造船家船業家等をも加へ遞信省內に改正會議を開始する筈なるが從來の規定より或は寬となるあり嚴となるあり固より槪言し難きも大體に於て當業者の大に困難を感ずるが如きは是れなかるべしと云ふ

●第五回國庫債劵償還期 第五回國庫債劵は來る八月十六日より仝廿五日までに悉く償還する筈なりと

●韓國生命保險 目下韓國に於て生命保險業を營み居るは大東、愛國、眞宗信徒、明治、日本、日宗の外一二會社にして就中日宗は韓國側、契約を誘導し皇族大官其他縉紳間に多數の契約あり既に滿韓各要地十數の代理店を通じ契約高七十万圓以上に達したるよし

●平和後の戰死者 過般來連日公表しつゝありたる戰死者叙勳は既に結了したるを以て是より平和克復後於ける戰死者に對する叙勳を發表さるゝ筈にて寺內陸相より再昨日其氏名を內閣に送附したりと云ふ

●浦鹽物騷 浦鹽は騷擾以來秩序未だ全く恢復されず夜間に至れば隊伍を組みて無賴漢橫行し行人に危害を加へて金物を掠奪し其害を被むるもの頻々たるより近頃は日沒後は殆んど外出するものなきに至りと

●刑法改正起草委員 刑法改正委員會にては曩に審查委員七名を設け改正刑法案に對し更に改正を加ふべき項目を審查せしむる事となり審查委員會に於て夫々其項目を審查して委員總會に附議したる結果右の改正項目を基礎として刑の分量等を定むる爲め更に起草委員十名を設くる事となり松田同委員會々長は過日左の十名を指名したり

倉富勇三郎　平沼騏一郎
穗積陳重　菊池武夫　江木衷
岡田朝太郎　鳩山和夫　常松英吉
磯部四郎
花井卓藏

●大連片信 昨今漸く雨少なく人をして雨期過ぎたりとの感を懷かしむ、ソレと反對に暑氣愈々加はりて人皆苦惱煩悶す、曰く臺灣の夫れより以上なりと▲減るものは料理屋、殖ゆるものは氷見世、出來るは〳〵氷見世の數、アチラの横丁、コチラの路次口、行く所到る所氷、を削ろ聲の冷しきことよ▲民政署は業者に注意値下を實行せしめた、夫れは湯錢と理髮料とであるの十錢なりし湯錢は七錢に、二十五錢なりし理髮料は二十錢になつた▲家賃も追ひ〳〵と引下げられつゝある樣だ、其當時に比すれば僅かに二割乃至三割方は廉くなつた、夫れでも尚チラホラ明屋が見える▲浦警務部長の病氣昨今既に輕快、官邸で事務を執つて居る▲關事務官は不日上京するさうである、勿論關谷君に南滿鉄道の創立委員であるから、其委員會に列する爲めであらう▲現任正金大連支店長は本店詰になつた來る十八九日頃に出發歸來すべしとの事でとである▲何日も同じであらう、大連にも日本の貨幣に對しては一割引といふ事になつて居る、若し夫れ支那銀貨の二十錢を持て行て十五錢の物を買ふなら賣者ダマツラ三錢の釣錢ほかよこさぬ、一寸變だから反問すると、曰く支那銀貨ですものを……とい調子である、商取引上、圓滑を欠くてと頗る甚しきものである▲大連の彩票は評判がよいのである、開票十二三日前には必ず賣切れといふ好景氣である、夫れは現時やつて居る頭彩六千圓の分である、今回更らに頭彩一万圓の奴を計畫しつゝあるさうだ無論認可されるだらうとの事である其價一票は四圓であるとの事である▲一時麥酒の捌け口がよかつたものだからドシ〳〵輸入した、それが爲め各種ともに在荷饒多にて各種とも競爭賣は始められた、其結果は荷ヅカへといふ現象を現した、茲に箱九圓位の賣買、物により家によると九圓を越るのもあるとの事である

●遼陽日清倶樂部 遼陽にては今回日淸倶樂部を設立し社交的機關として日淸人相互意思を疎通せしめ智識を交換し且娛樂を共にして其間の親睦を計る筈なりといふ

●日本人會存廢問題（遼陽） 曩に本紙に遼陽日本人會の同地軍政撤廢と共に解散すべき旨掲げたりしか其後聞く所によれは此存廢問題は未定に屬し現狀の儘維持して軍政撤廢後は速水副領事の意見をも叩き名義の上に於て一先解散變更するとするも實躰は依然存續して將來同地の發展に伴ひ有力なる機關とすべき海南同會長の意見なるか一般居留民の意向とする所も大同小異にて現時の日本人會以上の勢力ある團体となし或る自治体組織の下に一大發展を期せんと希望する者多しといふ

●公衆列車の增發 牛家屯驛發の公衆列車は從來朝夜の二回なりしか今回奉天營口間に限り更に一回の公衆列車を增發することゝ爲り一昨一日より實行せる由なるが其發着時間左の如し

營口發　正午十二時三十五分
奉天着　午後九時四十分
奉天發　午前八時四十分
營口着　午後六時四十分

●昨日の來遊學生 昨日當地へ修學旅行の爲め來遊せる學生は第二班第二組にして廣島高等師範學校大坂府立天王寺中學同八尾中學同市岡中學同高等商業學校及び大坂市立中學校の六校にして總計二百六十六名牛家屯に一泊の上今朝六時出發金州に向ひたり

●ロセツタ丸旅行者來期 豫て東京大阪兩朝日新聞か發意にて此夏期休業を利用し滿韓視察者の便宜に供せんとの企圖は此程愈々成立し既に其發途に在るか大連へは來る十日に來るし當營口へは十一日に來着する由にて在大連大阪朝日新聞通信員安齊源一郎氏は當地通信員と打合の爲め昨日來營したりといふ

●岡野養之助氏 大坂朝日新聞社員岡野氏は東京大坂兩朝日新聞か計畫したるロセツタ丸先發員として來り大連旅順を經目下奉天瀋陽館に滯在中なりといふ

●夏錄

小河沼の蓮花　骨皮道人

奉天名所の一なる小河沼の蓮花昨今見頃なりとて同人間に朝寢坊の譽れ高き晴嵐孫悟空の二子柄にもなき雅念を起し明朝れ時を期して一大隊繰り出すなどと大した勢にて床に就き覺醒れば太陽は何時も早や三竿の高きに在り行う〳〵の前觸れのみにて未だ一度も決せしてと無ければ已れ一番扱け駈けの功名して日頃自慢の低くない鼻を挫しきくれんと美髯大人を語らひ去る水曜日の朝四時三十分といふ素敵滅法の早起に先づ賄い爺を驚かし先幸よしと北與笑して腔栗毛に鞭ちつゝ一氣呵成大東門へと指し行きぬ

小河沼は門外十町餘に在り長さ七八町幅一町許の河に等しき大沼にして沼岸の一半は芦、葦の類叢々と茂り殘る一半は支那流に粗雜ながらも四五軒の掛茶屋あり其中央の最も幅廣き處に數十朶の芙蓉夜來の梅雨に白露姬を宿して白銀の衣を着けし風情碧水に映じて美しく不圖仰げば東の空に紫雲靉びきて池中に微妙なる音樂聞こゆ靈香四方に薰じ蓮花一時に苔を破る正に是れ數十の神女の天降りて足下に媚を獻ずるが如く其艷麗幽婉の樣筆紙の能く盡す所にあらず況んや八橋の下潛る緋鯉眞鯉は橋上の虞氏さ美を競ひ小魚を漁る鴨に似たる水禽の水中に沒して去り又現はれて其處此處を漂ひ遊ぶ樣何れも畫題に入らざるは莫し眼を轉ずれば一面限り無き青野原に唐西爪の花紅く咲き出でたる萬綠叢中紅一點ともいふべきか片々として飛び交ふ胡蝶扨ては緊線滴る如き若葉の影に秣へる驢馬は奈良の御園の鹿にも似て身黃塵萬丈の滿洲に在るを忘れしむ午後より夕方に掛けては例の掛茶屋に三國志水滸傳等の講談始まり納涼を兼ねて三々伍々集ひ來る者數限りなく沼岸に立ちてトンだ文王に繞り合ふ大公望の滿るやうな月を眺めて蛙を聽く風雅者もありとかや左れど巳れは去る程の物數寄者にもあらねば日の未だ高からざるに先ち踵を回しね歸れば晴嵐孫悟空の二公漸く眼を擦りて起き出て來るヤーの挨拶無限の快味を帶ぶ記無からざる可らずとて之を作る

○

遼河々岸に月落ちて
酒樓の絃聲今かすかなり
噫人生の夢は消えて
暗より暗にたとる子憐れ

紫筆

晴
自二十八日午後六時
至二十九日午後六時

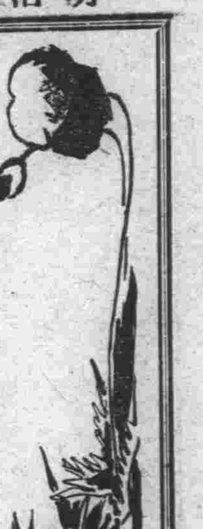
◉煉瓦販賣 上り竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ナ煉瓦ガ御望ナレハ當洋行ニテ御需メクダサイ

硝子、陶器、藥種、雜貨、質商、魚菜 ラムネ、檻柑水製造販賣並に清酒金水、龍印特約一手販賣其外洋酒類

歐米各國最新流行形

會席 營口警務課

淡谷 本號開設營口東青堆子發賣栢木方料 栢木元料紅松料木油松方料元木大小



新作小説 **おとし胤**　德田秋聲

六十七

「では此の議會も餘り多く希望が無いな。」
「いや、絶對に無いとは謂はれんです、所謂死中に活を求めて、行れるだけは行ツてお目に掛けます。」
「いや、然う謂へば、我が輩も死中に活を求めなければならん問題で、鳥渡貴方の意見を聞かうと思ツて居ツたのぢやが……」
「は、何事ですかな。」
「例に依ツて家庭問題さ。」
と海鹿子爵は、苦々しげに打笑クて、思出したやうに、消えかゝツた葉巻煙草をスパ〳〵吸ふのであツた、子爵と相對して、黒の小袖に羽織、威風堂々として椅子に凭ツてゐるのは、彼の波川八郎。兩人は、混雜する園遊會場を離れて、此處、清閑な梅林中なる亭で、忙中に閑を得て清談に時を移すといふ有樣。
「家庭の問題と申しまするとまた何んですかな夫人が、」
と波川は、眉の間に皺を寄せると、
「いや、今度は夫人ばかりぢや無い、母までが騒立ツてな、非常な反抗ぢや。」
「はア。それでは、何んですな、孃樣の家督問題で。」
「然うなんぢや、皆は、孃を嗣子にするといふのが、非常に不服なんぢや。不服ばかりなら可いが、あらゆる手段を以て迫害を試みるのぢや。」
「そりや當然の事でせう、寧ろ覺悟の上と謂はなければなりますまい。其儀はもう、何時ぞや鳥渡孃樣のお話しのあツた節、御注意申上げたかと存じますが。」
「然うぢやツた、そりや注意を受けては居ツたが豈夫に此程とは思はんかツた……實際な。ところが皆の反抗が豫想以上なんぢやから、私も驚いて居るのぢや。勿論失敗に失敗を荐ねた揚句ぢやから、私が一家に對する權能といふものは、實に薄弱極まるもんで、殆ど一家の主人としての威嚴が無い、加之貴方も知ツてお在ぢやらうが、私は、夫人に非常に不利益な弱點を握へられてゐる……これで何時も手痛く惱まされるのぢや」
子爵は先夜の親族會議の顚末から、今日の園遊會を開くまでに至ツた經過と、自分の覺悟とをざツと摘むで話した。
「然うツすか。」と波川、は點首いて、「成程大分手嚴しい反抗ですな、蓋し夫人としては、最後の手段なんでせう。」
最後の手段も何もあツたものぢや無い、それで全ての問題が無くなツて了うのぢやからな。そりや俺は、今日となツて、禮遇停止を怖れはせん……怖れはせんが、彼奴等に侮辱されたかと思ふとな、それが遺憾でならんのぢや。」
「では、何んでございますか。閣下は、夫人始め御親族の方々が、實際法庭を煩はすものとお考へでございますか。」
「然うぢやな、ま、然う思はんければならんの。所謂意地づくでも、……いや、夫人といふ奴は、病的に意地の強い女ぢやから、其位のことは行り兼ねんな。」
「然うですかな。」
と波川は苦笑した。彼は、あゝ此の辣腕家も老たるかな。と心密に歎息した。少時默ツて考へてゐて、
「併し、私考へるに、そりや夫人側の政略でせう。單に威嚇といふに過ぎんのぢや無いかと思ふのですが。」

雜報

●奥村女史の退隱

稀代の女丈夫奥村五百子女史は過日飄然新橋を發して郷里なる肥前唐津の光德寺に歸りたり女史が今回の退隱は以前の休息的退隱とは異なり六十二歲の老齡を驅つて意の半はを果たす能はすとて愈々隱退を決行せしものなりと云ふか之を機として餘り世に現はれさりし事共を紹介せんに女史は

▲二條家の血統　女史の家は二條家の血脈にして父は先々代九條公の妾腹に生れ轉法輪三條家に入りて出家したる人なれは今の二條鷹司公と先代九條公とは皆女史に取りては直の從兄弟の間柄にして女史の母は亦實に今の西園寺侯爵家より來りたるもの女史は畢竟やんごとなき公卿の姫君たるなり而して女史が呱々の聲を擧けたるは父母か二條今出川御殿に隱居中の事なりとか其後間もなく唐津光德寺の住職に補せられたるか此光德寺と云ふは太閤の朝鮮征伐時代に韓國釜山に創設されたるものにして後唐津に移りたるものなるか昔よりの慣例として住職は皆諸侯より入るを例とせしと

▲女史の少時　其父兄より變生男子として敎育されたる女史は人形や手鞠は嘗て手にせしことなく擊劍弓術等を專らに敎へさせしか中々の氣性者にて十四歲より國事に奔走せり女史の父は身公卿の出とて大の勤王黨なりけれは京師に於ける勤王派の失敗を概して大に挽回の策をめぐらさんとて十七歲の少女五百子に或使命を授け先づ長州に入らしめたるかやむごとなき姫君のあらも無く朱鞘の大小を手挾みて單身長州に入れり然るに藩主小笠原は大の佐幕党なれは關門を出るにも大苦心をなし或は留置され或は拔刀の卒伍に圍まれ諸種の危險を冒して長州宍戸家に寄せるか其時談判せし人の中には高杉晋作を始め今の山縣元帥なともありしと夫れより諸方に奔走せし中に世は太平となりしか攘夷説の女史は開國か不平てたまらさりしも仕方なく其中に良人を迎たるも一年餘にして死別せり

▲知事の暗殺　外國人を忌む事蛇蝎の如く女史は時々外人の首をねらひし事もありしか京都にて知事の暗殺を企てたる珍事あり开は時の京都府知事植村氏は何分外國文明党とて大に舊式の忌む處となり外山大納言を首魁として暗殺を計劃せしか露顯して一味は皆放逐され女史も其中の一人なりしか其の時同志中の浪人鯉淵彦九郎なるものと結婚して平戸島に生活せし間女史は裁縫をなして夫を養ひ居りたり而して明治六年に良人と共に出京して古着商賣をなせり時に征韓論は八釜しくなり居り竟に十年の亂となりたるか

營口雜觀

▲奥村夫婦は西郷黨にして女史の兄圓心は官軍黨たりしとて大に意見の衝突を來したるまてはよけれと何分にも殺氣立ちたる世の中とて西郷黨は非西郷党の有力者なる奥村圓心師を暗殺すへく其の下手人は妹の五百子女史こそ適當なれと選みしなとは露の虛無党、なるか女史は窃かに之を兄に通し而して其逃亡を勸め置きて他の刺客を差向けたりと爾來朝鮮に金氏等を助けたる或は天野爲之氏の爲めに運動したる或は縣會に向つて『サア見ろ』との電報を發せし奇談朝鮮の學校事業近くは愛國婦人會の創立の如きは已に人の知れる處なるか女史の今後は念佛三昧に餘生を送るの志望なるよし

●馬賊鉅魁の逮捕　(奉天)

近來東淸鐵道沿道に於ける馬賊の横行益々甚しく良民の被害者頻々として續出し或は重傷又は輕傷を負ひ或は金錢を掠奪せらるゝ等人心恟々として業に安んずる能はざる情態に陷り爲に關東總督府にては良民の生命財產保護の爲め先月より鐵道便にて旅行する者に對して總て列車毎に憲兵巡捕をして監視せしめ只管乘客の安全を計りつゝあるは一般の熟知する所なるが彼等馬賊は又巧みに法網を潜りて惡事を働きつゝありとは實に憎みても尙餘りありと謂ふべし事少しく舊聞に屬すれども去る七月廿八日の事なりき例に依つて奉天憲兵分隊にては同午後六時五分發下り公乘列車に取締の爲め憲兵上等兵武田丑松氏及び巡捕楊德山外名乘車し無事新臺子に着車し同地にて同九時三十三分發上り列車に乘換へ制規に依り乘客淸人の身体其他携帶品の檢査中乘客一人劉長勝(卅三)なる者のポケット錢入に實彈らしき怪しき物品を所持せるを逸早くも巡捕楊德山の認知する所となり直樣武田憲兵にそれと合圖して長勝の身体を嚴重に取調べたる所紛れもなきピストル用實彈八發所持せるを發見し尙も身体を改めたるも拳銃らしき物は所持せざりしも取敢ず嫌疑者として所轄憲兵分隊に引致の上三度び身体を隈なく撿査したる結果巧みにも左足膝部の内側にピストルに彈藥六發までも裝塡せし儘白木綿の布片にて括り付け其上より支那ズボンを穿ち居りしを發見したるを以て一層嚴重に取調べたる結果恐るべき罪惡犯し居る事を自白せしも尙より以上の犯罪行爲ある由にて今は同地憲兵分隊に留置の上嚴重に取調中なれば尙其後の摸樣は確聞の上報道する事とせん

●按摩の金を掻拂ふ　壯健に五尺の躰を持ちながら爲すこともなく日々下宿やに寢轉び剩さへ其日稼ぎの盲目按摩が貯へ置きし金を掻拂ひ跡白浪と消え失せし情ない野郎といふは永世町下宿屋港屋に止宿せる中村忠雄松井源助の兩墮落漢なるが恰も合宿按摩を渡世とせる松本美吉と云ふ者あり日々晝となく夜となく市中を腕と笛とを資本に『日此頃の暑さも厭はず按摩按腹の御用は御座イ』と僅か計りの金を貰ツて貯金するを唯一の樂みに働きて稼ぎし金は總て支那鞄に入れ堅く鍵を閉ざし置きしに前記中村、松井の兩惡漢奴早くもそれと見て彼が不在中を睨ひ窃に鍵を捻じ切りて貯蓄金七圓二十錢を掻拂ひて其儘何處へか逃げ失せけりと云ふ人間一人前にあらぬ不具者の金迄掻拂はざる可らずとは情けなき男ならずや

投書かご

▲僕は此間用で奉天に行いて天神樓に宿したに勘定の時とらぬものまで取りあがつた實に失敬極まる(奮慨生)

▲營口の宿屋、料理店を別々にしてもらわんと困まる此間も僕の知つてる人が内地から調査に來て○城館に宿したら無理に女なぞをとらせ不當な料を請求し、おまけに失敬な言語を弄し實に氣の毒であつた其筋の御注意願ひたい(村田生)

▲營口デーの日沒頃無料の花に眩い無代の酒に醉いし銀星附きの軍人さんが怪げな女と手を牽いて調子はづれな俗歌を唸つて歩行のを看ては是でも治にわりて亂を忘れぬ武士かと想はれた、春濃生

▲僕は此間營口に來たものだが昨夜遼河々岸を散歩したら月が中天に輝いてきたない水も淸水とかわり實に故郷の月を思出して深き感に打たれて居る時たま〴〵支那音樂の風に傳はり來るを聞き滿洲も趣味のある詩的の所と思つた(新來生)

流行

▲流行の時計　今日の社會では一日も時計なしには居られないので。貴賤貧富の論なく實用と裝飾とに用ひられて居るか。現今は既に大形のと小形のかすたれて、中形の極く薄いしかも片側の時計か大流行てあつて兩側なぞは少し蠻的となつて居る。價は金側で五六十圓から、●側で十圓から白銅て四圓位からある。同し婦人用の時計は相不變小形てあるか、極く薄い片側か流行する、又以前のように側に種々な彫刻をしたもの等はあまり歡迎せられぬ方てある、價は男子用のと、大差はない

▲流行の洋傘　洋傘は男物としては七本骨や八本骨、細まきか輕便て、其上品かよいと云ふので流行つて居る。色合は相不變高尙だと云ふ所から黒が持てはやされるオリブ等はまるて遲れ氣味てある、價は普通五六圓て木綿張りは二三圓位てある婦人傘は以前と餘程の變化て深張は全然すたれ極く淺いのか流行つて居る、色合も最早オリブはハイカラでなくて茶色か黒白のしまがもてはやされ、非常の濃厚なものとなつて居る、柄も極く小さい華美な裝飾をほどこしたものとなりて、貴重なる石をつけてあるもの等か全盛をきめて居る。價は男子用と大差なくやはり五六圓からある

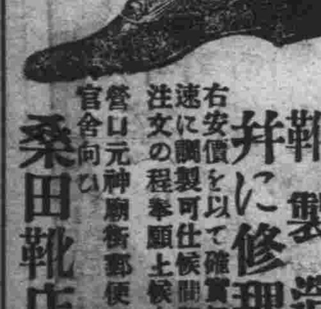
▲流行の下駄　近來元祿とか桃山式とかが返り咲きをして何によらず應用せられて居るか、下駄も其範圍内に入つて居る、今春までは元祿式といつても下駄の形にはさまでの差異はなく緒のみ應用せられたか近頃桃山形と云ふて從來の老婦人下駄に似てはまの薄い極く嬌奢な形か出來て通人間の御好みとなり大流行てある、緒は夏向しては縮珍厚板等より博多等の淡泊なものて元祿模樣や桃山の模樣を應用した極く細緒か流行つて居る、價は普通一圓四五十錢から三圓まで位てある、それと夏向きとしては重ね草履所謂君妻草履の三枚重ね或は四枚重ねか流行して居る　之に反して雪駄はあまり流行らぬ、價は同しく一圓からある、男物は昔から疊付は大差ないが、素下駄は皮緒の極く小い模樣のないのて下駄のはばの非常に廣いのか流行する、男のは別に大變化と云ふ程の事もない、價は疊付の方てパナマの表か二圓位普通て一圓位から素下駄の方は八十錢位てゐる。

廣告

風景佳絶、旅館、料理、遊技完備
滿洲第一 湯崗温泉
効能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
○大石橋—○營口—○海城—□湯崗温泉全停車場—○遼陽—○奉天

廣告

弊店曩に廣告致候通り內地へ引揚度き爲め商品「メチヤ、クチヤ」大安賣致居候に付御買上げ願上候尙預り時計は合鑑と引替八月三日迄と廣告致置候へ共未だ御申出無之方も有之依て八月五日迄延期致候間同日迄に乾度御引替願上度若し其後御申出相成とも無効と御心得被下度爲念再度廣告仕候敬白
明治卅九年八月二日
營口元神廟街
時計商 店主 志方吉太郎



靴製造并に修理
右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也
營口元神廟街郵便局官舍向ひ
桑田靴店

社告

一週年 大福引會豫告

今回本社創刊第一週年記念として聊か讀者諸君平素の御眷愛に酬いんか爲に大福引會を催し多數の讀者に一人も漏れなく景品を贈呈する方法を採ると定め致しましたその景品中の重なるものは

一等 金時計(大賞堂保險附) 一個
二等 貴婦人用帶地 一筋
三等 純金指環(白木屋呉服店 人西白牡丹製) 一個
四等 上等洋傘 一本
五等 縮緬兵兒帶 一筋
六等 縞毛布 壹枚
七等 フランチル單衣地 壹枚
八等 勸業貯蓄債券 壹枚
九等 卷煙草入 壹個
十等 言海 壹部
(十一等以下は漸次發表します)

等であります、月極讀者は勿論後滿一ヶ月以上本紙愛讀の方には周く福引券を配布します、景品陳列及び抽籤方法等の巨細も亦追々と我紙上に揭げます

有志家寄贈副景品

▲白米 一俵　第三樓
▲八丁味噌(大樽)一丁　金城館
▲手拭 十反　日本館
▲エジプト紙卷莨五箱　第一樓
▲縮緬上等兵兒帶一筋　奉天金城館
▲臺灣製夏帽子十個　醉花園
▲玉突券五十枚　第二軒
▲平野水四ダース二箱　東邦亭
▲エジプト紙卷莨二箱　三日月樓
▲澤庵積一樽　公樂園
▲麻製ハンカチーフ五ダース　東雲館
▲麻製ハンカチーフ五ダース　大和舘
▲敷島紙卷莨二十入三箱　萬なし
▲上等西洋料理券三枚　牛莊ホテル
▲リンチル上等洋服一着　富永洋服店
▲上等セル地婦人單物一枚　祇園閣
▲置ランプ三個　一友洋行

滿洲日報社

諸毒下し
毒掃丸
一名一ヶ月丸

梅毒、そう毒、一つ毒、胎毒よこね、かんそう其他諸毒又ハのぼせ、頭痛、頭手足に腫物生し困難なる人一日も早くためし見よ

軽症ハ二週間重きも一ヶ月間にて全治すべし故に一ヶ月丸の名有り

大日本帝國東京市山崎帝國堂大藥房製劑 毒掃丸

本劑實爲梅毒專治之靈葯故瘡毒、楊梅瘡、胎毒濕毒、淋毒、天梅毒、便毒、疳瘡、及筋骨痛梅毒性咽喉爛及口中紅爛先天及後感梅毒性眼疾頭痛耳鳴等症服本劑其効神速的確恰如操左劵凡用本劑者病毒輕者則二禮拜乃至四禮拜全癒重者則百日乃至百五十日除根萬無一悞若無病之人服常本劑能快通大便排泄百毒庶足以徵其効驗也

●定價四日份　三角
●一禮拜份　五角

營口永世街（司法部前）
總經理批發
回天堂三木大藥房（電話百九十番）

醇良日本酒
金露

サッポロビール
孔雀印平野水

大販賣
和洋雜貨 洋酒化粧品 酒類 食料品

千賀洋行
奉天鐘樓南大路西

千賀洋行支店
奉天小西關大街路北

土木建築用諸木料
板硝子類
マルソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコッチウヰスキー

廉價販賣

營口靑堆子綏定門外
志岐組
商業部

氷
營口元祖 田庄臺大盛貯氷公司
飲料好適

發賣元
營口元神廟街成功號三階（電話一三四）
田庄臺大盛貯氷公司販賣部

特約店
大連信濃町市場前 大原商店
營口二本町 丸山氷室
營口永世街 衛生軒
營口永世街平野町角 山田氷室
營口第二市場前 松木氷室

廣告

高等 麥酒スペシヤルライト

スペシヤルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

本月一日より麥酒取引は一切現金にて御願申上候

六月

釀造元　大日本麥酒株式會社

滿洲一手販賣店
營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）

分店
奉天四平街電話十三號　關東洋行

營口
周
電話八一

雜貨　洋酒　煙草　卸シ　小賣
大連　南洋　湖北　彩票　販賣

西北街　裕和盛

鑵詰　紙化　粧品　特ニ　安賣
東清鐵道　遼河　貨物　運送

御料理旅館
三河樓支店

弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納凉に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二楷屋新築し樓上等も暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上

樓主　川上總吉

祝開業一週年

弊店儀皆樣の御引立を蒙り日に月に繁昌仕候段難有御禮申上候就ては今回開業一週年を期し内地より藝妓仲居新顔を呼寄せ座敷等も閑雅に夏向は殊に納凉に適ふ樣大に改良仕明二十六日より來る八月八日迄左の方法を以て御客樣の興を相添へ聊か平素の御愛顧に報ひ度候間何卒御誘合せ御光來の程偏に奉願上候

福引會席御料理　壹圓

左の十二月に分ち御引出の籤に當りたる月に依て差上可申候

正月（ビール二本　會席五品　藝妓一時間）
二月（會席五品　御酒一本）
三月（會席五品　ビール一本）
四月（會席五品　御酒二本　敷嶋たばこ一）
五月（會席五品　ビール一本）
六月（會席五品　ビール二本　藝妓一時間）
七月（會席五品　御酒二本　敷島たばこ一）
八月（會席五品　ビール一本）
九月（會席五品　御酒一本）
十月（會席五品　ビール一本）
十一月（會席五品　御酒二本　敷島たばこ一）
十二月（會席五品　ビール二本　藝妓一時間）

月日
營口豊濟門街
柳亭

祝開業一週年

御料理旅館
扶桑館
奉天大西關大什字街第五分局千○六十八号
館主　堀田ハル
電話　号

開業御披露廣告

遼陽城外西門外街西へ入
和洋御料理　遠山館

今回皆樣方の御勸により遲れ馳せに開業仕候へ共料理と勉強美形と待遇とは決して遲れぬ樣にと精々注意可致く殊に一棟は西洋料理室の專用に充てコックも本國新來の腕利を雇入れ候へば美味は受合且輕便を旨とし一皿にても貴需に應ずべく候條陸續御來館の上御試し被下度奉希候以上敬白

改名 業務擴張廣告

遼陽陳家街破水門より東へ入る右側
御料理旅館
元吐月改め 東來館

今回元吐月を東來館と改稱致候に就ては萬端を刷新すると共に業務を擴張し精々勉强可仕殊に御料理は輕便を主とし時節柄一層吟味調進可仕候間陸續御來館の程奉希候

遼陽兵站業務取扱所御指定旅館

遼陽城外喇嘛塔下　遼塔ホテル
仝城内東街　遼東館
仝城内西街　滿洲ホテル
仝城外喇嘛塔側　浩氣館
仝城外西門外通　藝陽亭
仝上　遼陽館
仝城内東街　東洋館
仝城内北街　滿洲館
仝城外西門外通　梅廼家

法學士 辯護士　値賀連

目下營口永世街第三號ノ二（个城館ノ南隣）出張所に居住す

大連　丁目三十一番地

精乳　牛乳販賣所

今般其筋の許可を得左の處に於て精良牛乳販賣仕候間多少に拘らず御試用の程奉願候

元神廟街二四九
電話三番

御料理
滿月
平野町（電一六二）

滿月支店
平野町入口
店主　青木勝惠

○板材木　○蚊張
○金物類　○金庫
○疊建具　○花莚
○椅子テーブル　○ペンキ
○洋燈類　○文具
○鰹節雜魚　○紙類
○酢醬油　○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣

石
營口西北街
石光洋行
遼陽西門外
石光洋行支店

土木建築並ニ測量設計請負

營口靑堆子綏定門外
志岐組

資本金參拾萬圓
日清合股

昌
滿洲昌圖株式會社
營口分局
營口元神廟街第貳九八號

總局
盛京省昌圖府東街

既設分局
牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司經官准認眞開辨左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房

兼辦關内外鐵道又海外轉運（與大淸通運公司連接）東淸鐵道沿路所要各站分局現方在設備中凡蒙賜顧者所託貨客愛顧貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲此謹白載路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包賠特此

新荷着

裝飾用品　洋食用品　洋傘類　肉皿器　秤廿六貫以下種々　手提金庫　コッピー用附屬品

及附屬品　夏帽子各種　戸田式通水器　宇治新茶　ワイシャツ及カラー　學校用文房具各種　各種複寫簿

關東公司雜貨部（電話五番）

病室増築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背き遺憾とし今回更に增築し輕便を懸切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收むべし

○全身麻醉○　○局處麻醉○
○嶄新器械○　○無痛手術○

○梅毒○婦人科○專門　外科胃腸病
日本醫院

東洋雜貨
貨眞價實

加藤洋行
東海關後街

本行　天津
分行　營口　北京　大阪

牛莊松岡病院

内科・外科・眼科婦人科診療
入院治療を諾す

殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す

元神廟街第百三十四號
全科醫士　松岡玄雄（電話一五一）

宮門抄

初五日
吏部 翰林院 正黃旗值日 吏部引見八十名 德壽假滿請安 署江蘇提學使周樹模謝恩 澤公謝賞津貼恩 山東叅將陸國銘謝恩 劉能紀伺候召見 召見軍機 澤公 劉能紀 政務處遞封奏一件

初六日
戶部 宗人府 正白旗值日 吏部引見六十六名 工部五名 值年旗五名 順天府奏京師得雨深透 連順續假五日 吉林預備召見 召見軍機 吉林 振貝子

上諭恭錄

初六日奉
旨廕生曹希鐸著外用黃惠著外用禮部精膳司主事著林棟補授四川永寧道著劉學謙補授廣東惠州府通判著馮敦庸補授安徽潁州府通判著陳啓秀補授浙江嘉興府通判著劉恩華補授廣東陸豐縣知縣著周秉道補授江西石城縣知縣著陸守謙 授浙江長興縣知縣著丁惟晉補授江西永豐縣知縣著李昻補授浙江壽昌縣知縣著普榮補授江西永新縣知縣著江仁徵補授廣東乳源縣知縣著程蔭南補授浙江泰順縣知縣著程濟瀛補授直隸深州直隸州州判著楊同昇補授截取舉人江錫爵著以直隸州州同用蔣毓濂著以鹽庫各大使用江西宜春縣教諭王葆光著以鹽庫各大使用截取舉人張彬垣著以直隸州州同用四川青神縣訓導張世權著以鹽庫各大使用截取舉人王楫著以直隸州州同用董培琮著以直隸州州同用張國忠著以鹽庫各大使用傅炳鑑著以鹽庫各大使用張祖辰著以直隸州州同用選舉人李翰英著以直隸州州同用黃崇憲著以直隸州州同用楊枋著以鹽庫各大使用干建勳著以鹽庫各大使用朱學獻著以鹽庫各大使用黎振麟著以直隸州州同蔣琛著以直隸州州同用趙世猷著以直隸州州同用樊學圃著以鹽庫各大使川劉彥藻著以鹽庫各大使用俸滿江西南康縣教諭陳思泉著以教職用欽天監筆帖式着多仁補授都察院筆帖式着文潤補授翰林院撰文員缺着文鈞補授江南道監察御史員缺着江春霖補授山西道監察御史員缺着沈潛補授江蘇鎭江府理事同知員缺着啓順補授伊犁糧餉章京着德潤去截取繁缺知府翰林院編修趙士琛掌湖廣道御史察金臺俱着以簡缺知府用內閣中書成安兵部司務祝毓淸俱着照例用保送知府內務府員外郎延齡着以知府分發省分補用保送直隸州戶部主事董玉卿陳金臺盛京裁缺刑部主事馬鈞俱着交部記名以直隸州知州用保送知縣盛京裁缺兵部筆帖式紹卿禮部筆帖式吉人崇善俱着交部記名以知縣用京察戶部郞中選用道薩蔭圖着准其加一級交軍機處記名以道府用保舉吉林候補道王昌熾江蘇候補知府駱騰衢雲南補用同知直隸州秦發慶俱着照例用曁復直隸州用河南分缺間補用知縣韓厚瀛着准其開復原官原銜升階仍發原省照例用擬補浙江長林場鹽大使李麟閣浙江大嵩場鹽大使張菱和吏部筆帖式錫年俱着准其補授欽此

初七日奉
上諭七月初一日孟秋時享 太廟朕親詣行禮 後殿派載功行禮兩廡派𤅢茂承蔭各分獻欽此

奏議

商部奏改訂路務議員章程摺

奏爲遵 旨改訂路務議員章程繕具清單恭摺仰祈 聖鑒事光緒三十一年五月初六准政務處咨議覆直隸總督袁世凱奏請另行核議路務議員一摺於五月初五日具奏奉 旨依議欽此欽遵抄咨到部原奏內稱擬請 飭下商部將各省路務事宜詳細調查妥訂規則頒行遵守其度材用人工程運輸款項一切仍責成該管大臣督率在事人員認眞經理隨時咨報商部考核分別准駁尙中亦可隨時揀派妥實司員分往考察報部咨行該管大臣查照整頓如蒙 俞允其商部所訂章程內有應行刪改之處應由該部自行酌改以期周密而便 行各等語此案先於四月間由直隸總督袁世凱抄錄原奏咨會前來臣等伏查中外古今治亂之關鍵惟一言以決之曰通與隔而已周易否泰之機卽通與隔之所爲倚伏是故內外上下之情通則諸事聯絡而政治以理內外上下之情隔則諸事朦蔽而政治以紛臣部議員之設意在通內外上下之情非特輔臣部智慮之所未周正所以佐各管路大臣暨辦路地方各督撫耳目之所未逮也此不必遠徵之東西各國卽以中國體制言之各省關道得與外務部戶部直接督糧道得與戶部直接新設之提學使得與學部直接皆所以廣備諮詢用便考察其大要均在化隔爲通初不致有侵犯權限之弊是以臣部原訂路務議員章程十二條大槪注重調查報告俾得隨時稽考以期興利除弊此次議員無係臣部札派而照原訂章程第一條第四條第一條仍載明由管路大臣辦路地方督撫咨送履歷出具考語而各該員考查所得聞見所及仍隨時禀報管路大臣辦路地方督撫核辦權限本極分明各該議員身爲僚屬亦何敢侵越管路大臣暨地方督撫權限至第一條所載臣部章京及畢業學生得派幫辦路務在臣等議訂之意不過以臣部章京現旣就畢業學生內調充將來或有熟習路務專門之員不必因臣部一經調用遂令無地以見專長而各路需才孔亟正可令其實驗以資臂助眞才難得與政所關臣等初不敢存內外畛域之見第三條三年考成一節係指臣部給札二年以後而言各處承辦路工人員功過臣部原有稽核之責卽不能無懲勸之條至各該議員之黜陟進退仍係各該管鐵路大臣暨辦路地方督撫之權臣部未便干涉第五條議員久任一節誠以各省擧行新政百端待理才識較優之員往往檄委過多不能久於其職旣由臣部派充議員如有別項差委自應咨商臣部俾可接洽另行遴派委員此亦尋常辦公例有之事第十一條路務議員徑覆臣部一節是卽爲掃除隔膜起見至該議員調查之事由臣部咨會各管路大臣及辦路地方督撫旣非議員之責訂原章程內是以未經敘明

公主嶺電報

●南滿鐵道歸日本 (西七月三十一日發) 第三次受領鐵道委員長中村少將等一行於西七月二十九日下午三鐘到公主嶺俄國委員長薩哈羅並委員喜曾科及補意哥等出迎同夜定授受之辦法翌三十日抵范家店小件三十一日上午十一鐘遂抵長春與俄國委員交授受辦法書並開始通信所配備日本之守備兵而鐵道卽自長春以南盡收之南滿洲鐵道於是乎全歸日政府而委員等已均南歸再抵公主嶺云

遼陽電報

(西八月二日發)

●更調牧令 此次以遼陽州牧鮮君爲彰武縣知縣以彰武縣周大令特䇿爲遼陽州知州因之前遼陽知州鮮俊英君不日啓程當卽赴任云

中外要聞

●美使聲明謠傳無據 上海大津煙臺等處所有西字報轉錄大阪每日報接到華盛頓電據云美駐京柔欽使對於日本施設滿洲事宜頗抱不慊現向美政府禀請與列國向日本會同抗議一節聞柔欽使因西報載此事頗爲驚愕恐於日美兩國或致誤會直向日本駐京使署聲明予並未向美政府言及此事實係謠傳無據以免日美兩國誤會致碍邦交也

●自開採新疆油礦 新疆電稱現擬由官籌欵在新疆地方開石油礦幷從事採挖聞先是俄人現於該地已經開挖礦井礦苗頗佳取之不盡洵無盡之寶庫也於是該地方官深慨利權爲俄人奪故收回自辦禀商立案自開煤井購新機器以資採掘現已派人抵滬採購自今往庶鑛務漸有頭緒收回利權而抵制俄涎歟

●滇緬勘界問題 雲南與緬甸界務問題自前英使薩大臣在任時議提京交涉嗣由外部仍交雲貴總督丁巡帥派員查勘將滇緬界址詳細繪圖咨部以憑查核聞滇督丁制軍仍派前勘界之道員石鴻韶觀察會同英員勘查又因滇紳以石觀察於界務毫不明晰必致紊亂釀成大錯嘖嘖有煩言於是滇督將石撤回擬另派員接勘而英員以勘查方有頭緒若再易員勢必延期不允另派交涉已久聞滇督丁制軍決計另派員勘查以免有失云

●整頓奉省鹽務 奉天趙次珊軍帥自派史都護紳之督辦監務以來竭力整頓以期保全奉省鹽務利權現趙留守有鑑致戶部條陳辦法略誌如下 一設鹽匣局七處 一鹽灘需用麻袋特派魏令墨林赴津採購需欵約十萬兩 一金州半島劃入日之界鹽灘擬設法爭回 一在鹽灘之處建築墻地若干以備屯鹽

●澤尙召見情形 昨日澤公尙方伯趙頤和園跪請 聖安蒙 恩召見兩宮垂詢各國情形澤公奏對頗久 兩宮慰勞有加聞澤公因考察東西洋各國情形一時難盡述及遂遞一長奏摺呈 兩宮聖覽庶瞭然於各國一切政治云

●收回當嶼消息 厦門鼓浪嶼對岸嶼地方原爲漳厦鐵路最要之地點經汀漳龍道李觀察毓森買與美孚油行開作油池一節曡紀本報茲悉全閩鐵路總辦陳閣學特派工程師王君幼谷前往勘線得悉 嶼右靠象鼻山(山高十餘丈)左連羊毋嶼(一名大嶼與嵩嶼祇隔一襟帶水)前臨海港後有坦途直抵漳州是由漳至厦之路線當以嵩嶼爲終點且無他途之可以迂繞而美孚油行所購者則爲臨海一面全數百餘丈之地所餘者僅嶼後之村落及緊連象鼻山一面之沙卽數丈而已縱謂可撤村落以爲車站然前臨海港之一面旣歸於他人門戶被鎖則由陸運之客貨必不能轉爲海運是此地斷不可不收回也上月初旬陳閣學與美孚油行平和交涉由該油行買辦洪天恩經手議以他處較大於嵩 之地與之交換該油行不允嗣又議將臨海一面各分其半而該油行亦未允從云

●請免提冒銷銀兩 聞新疆巡撫電奏略云現在新省練兵興學需款甚急協新之餉屢多欠解請將前任撫中侵挪冒銷各欵二十一五萬五千九百餘兩一併留新備用懇准飭部存案免其提撥以應要需

●粵路擬聘比技師 粵漢鐵路總辦鄭官應電禀鐵路大臣盛宜懷條陳因京張鐵路工程師詹天佑不能速至粵轉聘京漢鐵路工程師沙多氏充爲粵路工程師云云

●周署督調任消息 江督周玉帥將其輕手事務一併轉交藩司刻已預備調任

●俄都近事彙誌 俄皇將議院解散所有議員一併罷免並定於明年二月五日召集新議員開議

將內閣首相格列密金已行罷免並諭令內部尙書斯杜里平組織新內閣

於俄京及圻烏州頒 軍令戒嚴矣備

聞已被罷免之議員等前往芬蘭者爲數甚多

俄國到處民心憤激頗形不靖

俄國將議院解散一事查俄政府非權宜之策其意在續行組織議院制度也據俄皇宣明云議院忘分越權往往多不法舉動所以不得已而出於解散之手段也云云全國人民恭誦論旨頗形平穩

但所有市場股票脚價頗形暴落然想當逐漸恢復 列國在俄京使署由俄政府均派護衛兵防禦爲備不虞起見也

●歐美議員大會於英京 歐美列國議員代表人共有六百人均到英京於上議院議廳開會集議妥議仲裁裁判辦法此日由英國首相巴那曼君申明熱心歡迎之意並聲稱英皇與英政府均對於此次開會衆議事宜尤表贊成日對於俄議院代表人特呈祝詞曰願令議院永久克立以濟厥美也

雜報

●備礮剿賊 前聞北來人云由吉省長春府南抵奉省昌圖府北袤延數百里到處馬賊糾聚猖獗不勝其數雖迭經官軍剿襲奈少軍需利器難操必勝之權日前奉天趙次帥爲此震怒因備文咨行直督袁宮保請借利礮十餘尊爲奉天剿滅賊群之要需昨聞由天津來人云云慰帥已允將第六常備軍之礮隊利礮撥往奉天十二尊當作實價照原購價銀若干萬兩如數歸奉天籌解直省幷該礮隊原屬兵弁等一幷借向奉天剿賊每礮一尊共須弁兵十三四名或曰該礮隊來輔剿賊未悉關東賊群能否滅跡也

●閱牆斷髮 昨聞阜民云關帝廟南有潘姓兄弟二人年皆二十餘俱有妻室雖同居共爨而手足情薄常不相能昨夕不識因何事故其兄弟又復決裂竟致同室操戈其二婦力難挽救疾呼比鄰助援於是衆等力前阻攔其兄因胸中懣憤莫洩急以利刀自己頸該婦疾奪幸辦髮護額立時截斷全髮狀若奴且刃 婦指骨血溢如注衆前猛挽兩始休惟婦指恐癈矣髮難接想兄弟同胞原係一本有何怨恨竟爾如斯狠鬥蓋其由來匪伊朝夕云

●河賊贗冒借錢 昨聞阜人言曰前夕本港西渡有商舟數隻停泊河沿約二更後時驟約來一舢板盪載數人距諸舟等數武該舢板人則自稱我等乃河上衆巡勇因今夜有急需項措備不逮爾衆舟須共幭備洋錢若干暫爲挹注明夜奉還衆舟上等答曰何卡巡勇姓名伊誰豈屑向我輩暫借洋錢爾等明係河賊贗冒遂呼諸夥等鳴槍攻之賊乃見風不祥速行回櫓疾遁云

●惟口興戎 楊武門外聞有張姓潑婦兒若雌虎周環里鄰莫敢攖其鋒者年逾不惑擁一子度日子約弱冠蕩閒無業蓋所度給仰其母氏一身該毋外號皆呼謂張大胯股女號直若男名或因其刁潑無忌耶昨夕其比鄰蘇姓之媳仰呑烟膏殞命媳之于歸姊丈幷姊同戚友共乘帷車五輛前來報怨被該婦攔說暫回蘇家全付車力等費旣而于家又來帷車六輛多有少年來爲助毆洩忿詎張婦之子視爲不平從旁窃發狂言被該等厮鬧群將該子拳脚交加乱向踢毆該子負創疾奔毋處膚愬而衆等追入其室見榻上置一利剪一少年操起憤戳該子背上一孔衆乃散去該婦急用門板舁子竟向衙署鳴狀未識後竟如何云

煉瓦製造部
(電話九十番)
料用として原料を精撰吟味す
遼陽西門外
林洋行

(電話二百十七號)
大街一四一
(森病院三軒目)

料理
前南江入る

木局
價廉採買客人不知此廣告
東青堆子橋南
淡谷木局

南の風

地方天氣豫報
昨日の氣溫
最高溫度八十六度二
最低溫度七十四度一
昨年より
低六度一
高五度一

營口 旅館料理店案内 いろは順

旅館料理 第一樓 元神廟街九十六號（營口ホテル）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

料理 一力 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前（電話二十六番 四番） 店主 熊田兼次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三丁程

料理 [illegible]鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の嶋 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 翁亭 營口元神廟街

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街（電話一四五番） 店主 升山小みつ

料理 樂々亭 營口元神廟街 店主 武部貞

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一番） 店主 前田九一郎

料理 萬梅 豐濟門街第百〇四番 店主 島田彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

旅館 品川館 營口永世街一六號

日本郵便局受拂軍票相場 金一百圓に付 一百二圓

日本品最近物價表 加藤洋行

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一一三四 和 末松信太郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七 店 澁出留吉

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉 電話□

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街南側 温泉付キ勉強キレーデチイシヒ（電話□）

旅館料理店 日清館 奉天小西關ヶ路北 館主 入江熊男 電話□

奉天兵站部指定 旅館 茂林館 奉天小西門ヶ街路北（電話二十五番）

御旅館 瀋陽館

御定宿 第一東京館 奉天小西關第五分局八一〇 館主 松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑靜を主として旅館を營業に單ら御客樣の御便利を計り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 御料理 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話 號）
今回弊館座敷增築の上清潔廉價を旨とし川魚（鰌井鯰蒲燒）等をも新調且つ仕出筆致し御中喰には至極御便利に御取り計ひ可仕候多少に不係御下命の程偏に奉願候

和洋御料理 高等料理 遼東館 遼陽城內東街一八九號 電話 號

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口ブツシ綏定門商會街東 川喜 鐵工所

和洋會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町 日本館（電話百三十）
各位樣

料理店旅館擴張廣告

今般各位樣益御清榮奉大賀候陳者弊店儀奉天小西[illegible]開業仕候處幸に[illegible]御引立を蒙り日に增し盛大に赴き候に付今般一層營業を擴張し更に本店を當府小西關新來[illegible]の料理店となし[illegible]宴會（百人迄）設備有之[illegible]歌舞演本[illegible]大廣間を新築致し候に付此際[illegible]改良を施し親切叮嚀を主とし益々勉強廉價[illegible]御愛顧御引立の程伏て奉冀上候 敬白
當料理店旅館の位置は奉天小西門より[illegible]輕便鐵道を中心[illegible]約一丁餘料理店[illegible]御來駕之節は路上の目標[illegible]

奉天小西關新來營街々 御料理 本店 金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話一〇）
營口永世街 御料理 支店 金城館（電話八三）
營口永世街 御旅館 支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理 支店 金城館
大連市吉野町 御旅館 支店 金城館

御料理 雜貨 盛進館 井川商會 遼陽城內西街 店主 北ツネ

和洋 御旅館 御料理 奉天軍政署指定旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大街（電話十四番）

日清倶樂部 奉天城內大南門裡大街（電話十五番）
麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髮 裁縫

氷 御小賣所

(有)
土木建築請負 煉瓦製造販賣 雜貨卸小賣 有馬組遼陽出張所 遼陽城內西街 主任 海南右門

滿韓境上唯一樂園 五龍背温泉

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絕佳今ヤ新綠滴タルノ下清流掬スベキノ仙境タリ
當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

牛荘ホテル 遼河々岸

營口唯一西洋式のホテルにて宿泊料は極廉なり
酒部屋及玉突理髮所の設備あり
食堂の外休憩所及應接室あり御會談に適せり
大集會御人數百名位の設備あり
アイスクリーム等の多少に拘らず御求めに應ず
高雅にして見はらし最良の景色に富めり
開業の披露として料理切手一千枚限り發賣す
第一等二圓第二等一圓五十錢第三等一圓

遼陽州官設醫院告條

一凡請診治到院掛號須在上午自八點鐘起至十一點鐘止藥資例取
一若有愿錫免藥資者須在下午到院掛號自一點鐘起至三點鐘止
一特邀醫官於其家者另繳規資一元以上但在下午三點鐘以後
一欲求診斷證明諸單及處方箋另付規費
一每逢慶節及禮拜日一概休辦

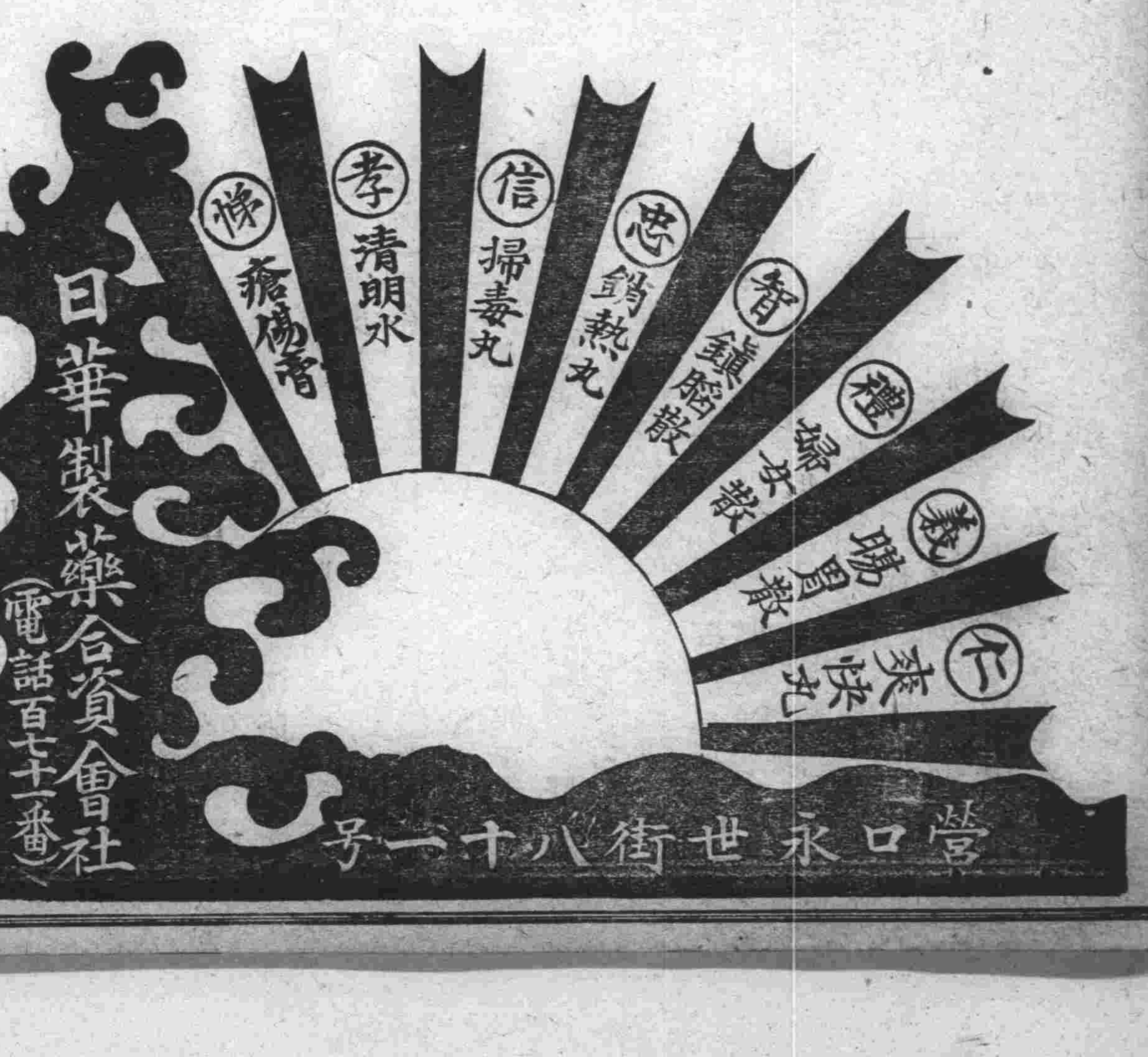
石材 石灰 大販賣 英治洋行（營口街屋）（電話三二）

自造 煉瓦 瓦 並に各種石材販賣 營口青堆子 加州組（電話八十六番）

齒科治療廣告

啓者本醫士現將已前治療室從新改築寛敞幽雅俾期與治患之人一般便利而且應症活治療妥善有齒牙之患者幸早惠臨試驗方知本醫士言不謬也
遼陽西街六十九號 齒科醫士 德平盛剛

軍隊用雜貨 日用品雜貨 食料品種々 舶來品類
其外新荷着舶來品精々大勉强販賣
遼陽西門外筋 北原洋行



飯塚工程局材料部

營口元神廟街（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年會與日本製造名廠訂有專約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗之草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨及他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

金井洋行 盛進商行

營口材木商組合
一杉丸太長一丈より五間迄 末口一寸以上八寸迄各種
一杉樅栂松板類各種
一小押角挽角小割各種
右廉價販賣
營口永世街 喜久洋行（電話一五二）

絹張婦人洋傘
白地レース付
博多地葡萄色
本琥珀リボン符
白麻メリヤス上下
絹網半袖ッヤツ
六圓內外　八圓內外　十二圓　四圓　三圓

メ……
絽更紗ネクタイ
羽二重全
浪花縫模樣入
全山水畫入
扇風器
一圓二十錢　一圓二十錢　二圓八十錢　一圓五十錢　三圓

極上白味噌
赤都味噌全
梅干正十二貫入
醬油極上一斗入
全二斗二升入
魁酢一斗入
九……　八圓　四圓五十錢　四圓五十錢　二圓

清酒稻正宗四斗入
エビスビール四打入
平野水全
京印醬油一斗入上
十六圓　九圓四十錢　四圓四十錢　三圓五十錢

盛進商行

椅子
花莚四十碼
ゴム合羽
ゴム沓
雨傘
十圓五十錢より　十三圓より　十八圓五十錢より　十二圓より　八十錢より

二間板八分
全並一寸
全正一寸
大貫上
岩
五十圓　六圓五十錢　八十圓　三十圓　三十錢

挽角才
丸太二間末口二寸
全三寸
全三寸五分
全二寸五分以上才
十一錢　三十五錢　五十錢　七十錢　七錢

滿洲日報

本紙代價

一枚	四錢
一ヶ月前金	八十錢
半ヶ年全	四圓八十錢
一ヶ年全	九圓六十錢
郵稅無料	

廣告料

五號活字十九字詰一行一回	二十錢
四號活字十四字詰一行一回	三十錢
二號活字九字詰一行一回	四十錢

本報價目

一張	四分
一月	八角
半年	四元八角
全年	九元六角

告白刊例

一行五號十九字　一日者每行二角登十日者每行一角五分登一月者每行一角登長年者價目面議

清國營口中盛街（電話二九番）　滿洲日報社

特別廣告

廣告

刻間軍政署電話局欲添募清國人能任交換電話之人有願充斯選者限年在十六歲以上至廿五歲爲度須有高等小學畢業程度且視聽力均須敏捷方不至貽誤事機如有合意之人請自書寫志願書及履歷冊携帶赴局以便試驗定募可也此佈

明治三十九年八月

營口軍政署電話局示

日本郵船株式會社　瀛船出帆廣告

●竹島丸　八月十日午前出帆　太沽、芝罘、長崎、門司、神戶行

●橫濱丸　八月十一日午後二時出帆

大連出帆

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ　未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口　代理店　旗昌洋行（電話二六番）

大阪商船株式會社　營口出帆廣告

●盛航丸　八月十日　入港

東營口公園地橫（電話二十三番）

代理店　ブラッシュ兄弟商會　遠來洋行

瀛船出帆廣告

●賴朝丸　十一日出帆　大連門司神戶行

松茂洋行船舶部　海岸東稅關西　電話（五二）（五七）

朝日ビール、石炭、白鹿（日本酒）白糖、木材等類各貨物美價廉如蒙各商光顧請駕臨

松茂洋行商品部（電話五二番）

▲資本金貳千四百萬圓

▲積立金一千壹百五拾萬圓

橫濱正金銀行牛莊支店

本支店出張所　橫濱　神戶　東京　長崎　大阪　倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇　孟買　香港　上海　漢口　天津　北京　大連　旅順　奉天　遼陽　芝罘　鐵嶺　安東縣

（電話十番支配人室二百八番事務室）

正隆銀行

軍政署認可

營業項目

一定期預金（長期存款）　三ヶ月　五分　六ケ月　按年五分五厘　一ケ年　六分

一當座預金（暫存款）　按年　四分五厘　日步　一錢二厘三毛

一小口當座預金（零碎暫存款）　按年五分一厘　日步一錢四厘

一送金爲換取組先（滙兌）　東京、橫濱、大阪、神戶長崎、上海天津の橫濱正金銀行本支店

一貸附金（放利）

一般財產並に土地建物の管理を引受くること

不動產抵當貸附金の委託を引受くること

一附帶ノ業務

本行受入の貨幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣可相働候尚近々の內過爐銀の取引をも開始可致候

營口西北街第二百三十號（日本人會西隣）　支配人　深水十八（電話二百十番）

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價值格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周群俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至　總司理人　田中賴之助　謹白

開設老爺閣街同盛德院內　電話（店一八三番）（住所五五番）

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是有　總司理人　葉亮卿　謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運瀛船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之　正理事　潘玉田　副理事　金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寛大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞　本主人敬啓

仁裕號

係裝運各郡火輪船生意兼賣各郡洋什貨糧石等此僅　營口西大廟街路北警乙第十三號

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子洋蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國士布家綿自染決不退色倍亦格外公道官商光顧請到本行面議　北街東櫃（電話九十五番）　西義順棧內西櫃（電話九十八番）

SP　糸平公司

本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品皆美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綿布　其他一切織物概行發賣並特約販賣（正日光）皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告　營口元神廟街元神廟南邊路西　朝日ビール特約大販賣（電話百九十二号）

三井洋行

電話　第六十六号　第九十一号

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭、糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部經理

今回倉庫所在地（青堆子精揚場上陸り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候

○明治火險公司（電話百二十八号）

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售　日本白米

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨叵集資本浩繁有保險以維持之可以有特無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有郭漁笙先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦諸貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亭內面議可也　王鹿芹　朱斐章　郭漁笙

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己諸公賜顧請駕臨大德亭內面議不誤

王鹿芹　朱斐章　郭漁笙　全啓

洋行　電話　第六十六号　第九十一号

●印判彫刻　●ゴム印　●活版名刺　●各色印肉インキ附屬品一式

各位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名到着候に付分店設立と同時に一層勤勉を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度候御報知次第店員參上仕候

營口永世街三十七号　刻字舖　尾崎洋行

奉天小西關大街二七八号南側　尾崎洋行分店

東省巡航公司業務廣告

本公司は牛家屯東稅關西稅關河北間に小蒸滊船ホ・チン號を往復せしめ牛家屯河北停車場發着列車の連絡を取り旅客の迎送をなす

本公司は牛家屯營口河北間貨物の滙搬及曳船の依賴に應す

御用の節は電話二百三十六番へ御一報煩し度候

本公司乘船場は牛家屯停車場前棧橋河北停車場前棧橋東稅關棧橋西稅關東部にあり切符發賣所は各乘船場及船中にて發賣す

賃銀

自＼至	河北	西稅關	東稅關
牛家屯	三十錢	三十錢	二十錢
東稅關	二十錢	二十錢	
西稅關	十錢		

數回切符は特に割引可致候

列車連絡時間表（日本時間）

東稅關午前五時發　牛家屯六時三十五分發列車に連絡

全午前六時發　河北七時發列車に連絡す

東稅關午後七時發　牛家屯發九時三十五分の列車に連絡

牛家屯午前九時四十分發　牛家屯九時十分着の旅客を迎ふ

牛家屯午後八時發　營口牛家屯間通勤諸士の營口歸りの便を計る

河北午後六時發　河北五時四十分の旅客を迎ふ

營口元神廟街第五十五號　東省巡航公司　謹白　電話番號二百三十六番

洋鐵鋼　麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、建築土工用具及船具類　其他諸機械ノ製作修繕

安東縣市場通七丁目　合資會社　秋田商會支店

安東縣東大街　合資會社　秋田商會支店

告

DENTIST. Dr. S. KOJIMA.

牙大夫學士兒島醫院

大日本齒科醫會部長　日本齒科學會評議員　◎營口神廟街◎　白

啓者本院主從來於森醫院齒牙科治療從事近時因其狹隘別卜居於茲院新式諸器械完備無遺專足於救治牙疼之術齒金銀充填補缺落齒補入妙技矣一齒牙疾患者希咀嚼必要欲皓齒金光燦爛美良者速來方知本院主神秘妙技焉執事

注意　◎語曰齒全書長◎來訪者兒島二字要

志岐組（電話八十一号）

本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價值格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸　本主人謹白

鐵道 遼河 裕和盛運輸局

在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本号向在日本長崎開設數十年開店於朝鮮國漢城仁川木浦旅順營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車並又承辦東清鐵道之各車站均設分局格外周到代客裝運貨物不悞主顧

運輸局總理主人　周鶴雲　運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

徽州 怡昌祥茶號

本號專在徽州黃山採辦三十六峰雲霧仙品名茶色香味與衆不同加工揀焙重資徵郡珠蘭不惜資本以圖久遠凡貴商大寶號賜顧者請認明本号黃山圖記庶不致誤

怡昌祥本人謹白　寓營口恆利德

日本官造紙煙專售告白

本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）嫣嫣唎（軍旗牌）逢佔來福（雙仙鶴牌）利利（百合花牌）捷利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳大巴德（蝙蝠牌）等九種及煙絲各樣

東營口西北街（舊代代木公司）　日本官煙營口專賣處

丸重轉運行

啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷

營口西北街（電話八十號）　牛家屯車站（電話四十六號）

既設分局　遼陽、奉天、昌圖各車站

關東玻璃公司

本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至營口永世街第五號門牌便是

志岐組木料棧　木料出售

啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克已凡中外士商光顧請到本棧

●銃砲火藥販賣業

本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需整發售如蒙中外紳商賜顧者請到本行面議可也

官許商　秀淸洋行　鐵嶺東門大街

齒科治療廣告

啓者本醫士現將已前之療室從新改築寛敞幽雅俾期與治患之人一般便利而且應症活治療妥善有齒牙之患者幸早惠臨試驗方知本醫士之言不謬也

齒科醫士　德平盛剛　遼陽西街六十九號

東京電報

●滿鐵への命令（七日發電） 今回政府が南滿洲鐵道株式會社に與へたる命令書の要領は左の如し
事業の範圍は鐵道運輸鑛山の開堀及び販賣通運業倉庫業等にして資本總額二億圓の内一億圓は日清兩國より株を募集し一般募集には六朱配當の優先權を與へ且つ十ケ年間六朱の補給利子を附す、會社は在金を提供して社債を募集す、軌條の幅は四フイート八インチ半？株券は日清兩國以外に讓與賣買を禁ず其他滿鐵會社は政府の監督を受くるの外都督府及び守備軍と關聯せる事項あり滿鐵委員長委員其他在職官吏にして滿鐵會社の職員となりたるもの旅費支給に關しては三十七年勅令一九五號を適用することゝなれり

●新到軍艦の御親閲（同上） 今度新に英國より廻航する鹿島香取の姉妹艦は本月下旬横須賀鎭守府港内に於て御親閲あらせらるべしと

●第二師團行賞發表（同上） 第二師團後備歩兵各隊準士官以下の行賞は本日發表せられたり

●二勅令の發布（同上） 廢兵院條例及び行賞金保管の勅令發布せられたり

●元老の戰役行賞（同上） 德大寺松方井上の一侯兩伯は大勳位に敘し菊花大綬章を授けらるべく伊藤山縣大山三侯は菊花頸飾章を加授せらるべしと

●大島都督訓令を受（同上） 大島都督は馬賊討伐に關し帝國の威信上重要なる訓令を受けたり

●韓國横斷鐵道（同上） 兼て計畫中なる韓國横斷鐵道は平壤にて十字形を爲し元山より鎭南浦に通ずる目論見なり

雜報

●軍艦三笠の浮揚 過日來試驗的排水に着手したる際新に發見したる艦尾の破孔は其後晝夜兼行にて塡塞工事を終り又艦体を埋沒せる泥土の浚渫喞筒の据付等充分の用意其功を奏せしと見へ艦体は昨日午前六時を以て無事浮揚りたる旨佐世保鎭守府より軍政署に通知ありたり

●北滿洲の開放問題
南滿洲と同く北滿洲を開放するは露國の責任なり而て北滿洲を開放するに當ては松花江及び黑龍江流域に於ける船舶行通の禁を解かざれは其開放は有名無實に歸すへきを以て開放問題と共に兩江流域問題に對して列國の視線を引き露國に於ても多少研究を要すへけれは其解決を見る迄には尚幾多の時日を要すべしと云へり

●滿洲の幣制 滿洲の幣制が頗る混亂を極むるが爲め通商貿易上、外人に取りて不便少からさるは當業者の普ねく感ずる所にして滿洲經營の第一着準備として是非其の統一を計る必要ある次第なるが先頃水町理財局長滿洲行の要務の一は右に關する實地調査に在りし由なり而して當局者の希望は正金銀行の一覽拂手形を以て滿洲に於ける一般通貨たらしめんとするに在るが如くなれとも由來清人一體に舊習を重んずるの念強く兎角新制を悅はざる其上に有力なる清人の多數は幣制の不統一に依り兩替業を營み莫大の利益を収めつゝあるを以て此輩は寧ろ現狀の存續を願ひ其變更には陰に陽に反對するを以て幣制統一は大體に於て至難の事業なるに加へて一方には奉天將軍が其管下の官銀行をして盛に通貨を發行して極力之が融通を計り居れる一方、我軍票乃至正金の一覽拂手形の如き良通貨は上海その他の地方に對する債務返濟用に供せらるゝを以て一旦市場に出つるも亦直ちに復舊すれはなり其流通高は到低多額に達する能はず目下軍票の市場に殘留せるもの一千萬圓以上千五百萬圓以內、正金の一覽拂手形は僅々三百万圓內外に過ぎざる由但し此兩者とも清國官憲の公納金にも供用せられ居り清人等亦實際これを便宜となし居るを以て今後南滿鐵道の改修、炭坑の採掘其他の經營費として戰時中軍費支拂ひの爲め軍票を散布せしか如く一覽拂手形盛んに支拂ひに供せらるゝに至らは自然に市場の流通高を增加すへく斯くて其流通高の增加と共に愈々勢力を占め終に事實上、右一覽拂手形が本位通貨たるに至る可きを以て徐ろに其時期を待つ方寧ろ得策なるべしと云ふ

●滿鐵の設立と總裁 滿鐵設立委員に附議すへき案件は當局に於て既に準備整頓し初回の總會にて特別委員を設けて之が審議を進行せしむる方針なれは會社か公式に設立せらるゝは遲くも來月下旬たるへき見込なり但清國と交涉の成行き如何に依つて幾分か延引するや計られず尙ほ同社株數の分擔方法に付清國側に不滿を鳴らし應募困難なるか如き說あれども這は全く無實なりと因に同會社の總裁には故兒玉大將委員長の時より臺灣總督府民政長官後藤新平氏之に擬せられ居り佐久間臺灣總督よりの異議ありて未決定の由なるも早晩事實となりて現實すへしと云ふものあり

●賜金の濫費取締 出征者は其凱旋に際して何れも町村より鄭重なる饗應歡迎等を受けたるより今回巨額の賜金を得るに於ては勢ひ返禮祝宴等に及ぶ可き次第なれは各師團は地方官と協議し此等の弊害に陷らざる樣豫め注意を與ふる事となるへしと

●行賞賜金預入 行賞賜金を直接に受賞人に下賜せずして貯金監理局に預り置くの件は目下法制局に於いて審査中なれは不日發表の運びとなるへし今該預入方法の制定に就いて當局者の說明する所によれは行賞賜金を直接本人に賜與するに於いては往々公債の紛失を來し又現金の必要あるも急速に之れを賣買し難く強ひて賣却せんと欲せは投賣の窮境に陷いり非常の損失を被むる等種々の不都合あるを以て該行賞賜金は法定の利子を附して貯金監理局に預り置き現金の必要なるものには望みに應して現金を渡し公債を望むものには公債を渡し中央及び地方の貯金局に於いて便宜自由に下渡す筈なりと云へは毫も人權を拘束するの主意にあらすと云ふ

●傳染病豫防訓示 傳染病豫防に關し與倉軍政官は營口在留民一般に對し左の如く達示したり
近來市民腸窒扶斯及赤痢等の傳染性惡疫に罹るもの漸次增加し來り多きは一日三名の病者を發見するにまれり今や暑氣旺盛にして病毒蜂起の時に際す若し之れか防遏の法を緩慢に付するあらは該毒益々流布して其猖獗を逞ふするの恐れあり殊に當營口市は從來猛烈なる鼠疫の發生地として目せらるゝを以て豫防法一層の力を盡さゞるべからす一朝不幸にして傳染病の蔓延を來すあらは患者の悲慘は勿論現下商業の不振は益々加はりて或は交通杜絕の悲運に遭遇せんも亦測るへからす之を以て本職は多數の職員をして極力玆に盡瘁せしめつゝありと雖も凡そ傳染病豫防の事たる官民同心協力するにあらされは其實効を擧け難し況んや十數萬の住民に對して豫防法を普及せしむるか如きは極めて至難の事に屬するを以て本邦人諸士の奮勵盡力を俟つて當營口に於ける惡疫を未然に防遏せんと欲す依て須要の諸件を左に揭く漏れなく市民一般に通告して之れか實行を圖るべし

一、霖雨の晴るゝを俟て家屋內外の大清潔法を勵行せしむること

二、內外人の別なく死亡者ありたるときは最寄憲兵分遣所に通告せしめ醫官之れか撿死を爲したる後にあらされは一切埋葬又は火葬することを禁止しあり若し此禁を犯したるものは嚴罰に處する旨一般人民に傳達すへし
此禁を犯して埋葬したることを密告せしものには賞銀を給與す

三、巡視の官吏に對し患者を隱匿し又は虛僞の申立をなしたるものは罰に處す
傳染病者を隱匿し又は故意に患者を他に移したることを密告せしものには賞銀を給與す

四、患者を避病院に収容することを拒みたるもの又は家屋內外の消毒を妨害したるものは罰に處す

五、市民の捕鼠數は近來大に減少し來れり之れが爲め軍政署に於ては每戸に捕鼠器一具つゝを下給するにつき充分捕鼠を勵行せしむへし

六、殺鼠の目的を以て別紙圖の如き團子を每戸に配布す該團子は猛烈なる毒藥にして鼠族一たび之を喰ふときは必す毒死するものなり人も亦若し誤て之を食するときは直に其毒に中るを以て注意して取扱ふへし殊に小兒には注意を要す團子を配布する際は別に使用心得書を附す

殺鼠用毒藥團子

毒劑團子使用心得

一、此團子は猛烈なる毒劑にして鼠族一たひ之を喰ふときは直に毒殺せらるゝも人及家畜若し之を食するときは同樣其毒に中り斃るゝを以て使用の際は充分注意し殊に小兒には一切手に觸れしむべからす

二、若し誤て之を喰ひたるときは直に最寄憲兵分遣所に屆出て救護を受くへし

三、此團子は成るへく鼠の棲息する場所を選み鼠の持ち去らさる樣串を固定し置き（地中に刺し又は板壁石等の間隙に刺入す）十日間使用したる後は最寄憲兵分遣所に返納し更に新品を受取るへし
但し團子を返納するときは成るへく其粉末をも拾ひ取り紙に包みて返納すへし

四、鼠此團子を喰ひたるときは渴の爲め水を欲するを以て飲料水には必す蓋をなし若し鼠水中に斃死したるときは其水は悉く廢棄すへし

●鐵道受領 跟隨記（特派員）
曩に一たび第一次鐵道受領委員に從ひ其狀形を視察し今又第三次受領委員に跟隨して其受授の光景を觀る梗概は則ち隨時電報して之を讀者に報せりと雖も未だ事情を悉くさゞるもの尙多かるべきを思ひ更に經歷の大要を摘記して讀者の一粲を博す

▲二十五日一行と共に昌圖に着し滊車中に宿泊す二十六日黎明天氣悪しけれども裝を整へ昌圖を發し建築列車に乘じ萬井に赴く昌圖を距る日本里程約一里半なり此處にて建築用トロ三十餘臺を用意し一行皆之に乘せり午後二時頃雙廟子の停車場を北に距る一千米突の三道嶺子に着し守備隊宿舍に舍營せり萬井より此に至る其間鉄橋の破壞せるもの五個所あり今現に皆假橋の架橋工事に着手中なれども唯だトロのみは鐵橋上を行くことを得

▲二十七日馬車泥濘の間を穿ちて四平街に抵る委員等は騎馬を取る三道嶺子より約三哩にして黑嘴子以北四平街に至る路上街軌鐵を見ず最初受領の當時と毫も其狀况を異にする所無く且つ雨の爲めに堤防大牛破壞せられ道路頹圯甚し唯電線のみは目下已に全く修理せられ自由に通信を爲すことを得四平街の停車場は前回視察の際は極めて繁榮せるが如くなりしも今は商人皆四散して寂々寥々唯雜草の繁茂せるを見るのみ

▲四平街よりは一行又露西亞式のトロに乘じ郭家屯に至り屯す即ち步兵第五十六聯隊第二大隊の守備する處也翌二十九日公主嶺の南方二十淸里なる大孤楡樹に至りて止まり獨り委員長と委員とのみ公主嶺に入る露國委員等之を迎ふること極めて慇懃なり晚に彼我委員互に受領手續上の協議をなせり

▲翌黎明大孤楡樹に留まれる予等は早發公主嶺に至り委員等に追及し午前十時露國滊車に由り兩國委員と予等一行と及び公主嶺以北の守備に當つべき步兵第五十六聯隊第一大隊の兵員とを乘せ出發し護衛兵舍に達する每に列車を停めて露國兵士を積み我兵員を卸して之に代へ各〻其守備に任せしむ

▲范家屯は公主嶺寬城子間の中間驛なり此に第一大隊の本部を置き同時に通信所をも開設せり同地には鐵道附屬家屋及び兵舍二十個餘あり用地亦頗る廣し是れより北方に進むこと二十淸里許にして孟家屯あり即ち此次受領の境界線に當り通信所を開始し憲兵大尉の一行も亦此處にて下車せり是れより寬城子停車場に至る約十淸里周圍は轄開せる平原にして將來南滿洲鐵道終點の一驛として經營するに最も適當なるべきを覺ゆたり然れども寬城子の停車場問題の未だ解決せざるを以て何處に選定せらるべきやは固より保し難しと爲す

▲要するにポーツマス條約によりて得たる吉長線の愈〻實際工事に着手せらるゝに至らば其起點の何の地を擇ぶべきかは頗る重要の問題にして其地點の如何によりては大に利害の關係する所と爲す寬城子に於て彼我委員は互に公文を交換し此に全く寬城子以南の滿洲鐵道を我手に収むるに至れり受授公文左の如し

公主嶺停車場の南方信號杜よりハルビン停車場を距ること二百三十二露里なる第七十八號待避線停車場の中心線に至る鐵道線路地區授受結了に關する公文書
下名者は各其總督より適當の委任を受け千九百六年五月三十一日（露曆五月十八日）寬城子停車場に於て作製したる覺書に基き本日を以て公主嶺停車場の南方信號杜よりハルビン停車場を距る二百三十二露里なる第七十八號待避線停車場中心に至る迄鐵道地區の授受を結了したることゝ並に此地區は爾後日本官憲の領有に歸せる事を證明す之がため日本文及び露西亞文を以て本公文書各二通を作り之に署名し各自日本文露西亞文各一通を保有す千九百六年八月一日（露曆七月十九日）寬城子停車場に於て之を作る

日本關東總督府工兵部長
陸軍少將　中村愛三
鐵道技師　堀三之助
關東總督府參謀陸軍步兵少佐　松山良朔
露國委員陸軍少將　サーハロフ
鐵道技師　プリンスヒルコフ
工兵中佐　ブイコフ

●軍旗祭參列 既報の如く昨日は大石橋駐屯の第六十一聯隊軍旗祭擧行せられたるを以て當地よりは軍政官與倉中佐を始め迎副官其他屬員諸氏、領事館より瀨川領事以下館員若干其他在留有志十有餘名同地に赴きたりと我社も又特に社員を派して盛典に參列せしめたれば其詳細は次號に報道すべし

●カストムブローカー（稅關代辦人）に就て
西稅關に屬するブローカーは暫く措き玆に云ふ所のものは東稅關に屬する稅關代辦人なりとす元來東稅關のブローカーなるものは一つのモノポリー即ち認可資格屆を要せざる筋合の由にて之れに從事する人は軍政署に向て一片の營業屆書を提出すれば足る次第故其稅關手續を爲す人も稅關の方面よりて云へば誰人を問わさるもの〻如し乍併右は元來複雜の手續を要する次第にて先づ本船が入港しマニヘストを稅關に提出すると同時に各荷主は荷物引換証に英文及支那文の撿查申込書を添へて提出し關吏が本船の荷物明細書と對照を終れば檢查許可の印を捺して荷主に附し荷主は保稅倉庫に於て詳細なる檢查を受け再び本關に立ち皈りて納稅許可を受け正金銀行に納金し納金濟の證を更に本關吏に提出して始めて荷物を引き取り得る次第にて如何に敏捷に運ぶも先つ二日の日時を要する次第なりと而して事務の進步に此の如き長時間を要する所以のものは其內部の組織如何なるにせよ本來が支那の役所にして支那的風の大に然らしむるものあるもの〻如し勢ひ此の如くなるが故に僅少の荷物を輸入したる場合に於て一店の主人か一々此の手續に鞅掌するは事情忍び難きものあるが故に目下に於ては分業的に通關代辦人に依囑するの據なきに至れり尤も此の以外に於て一の便利法を設け一定の保證金を提供したる取扱店には所謂デレベリーオーダーなるもの〻發行を許し直ちに荷物引取の便法あるありと雖這は當港に於て許可され居るもの僅々二三の取扱店に過ぎざるが故に若し荷主が營口の慣習に基き直接に荷物を引き取らんとせば勢ひ之の代辦人に委任せざる可らず已に此の如き形勢ある以上は稅關當局者は更らに一步を進め代辦業者の身許を確實に檢考し一定の資格を附與するの方法を講ずると同時に多少現今以上の便宜を代辦人に與へられん事を希ひ居るもの〻如し這は獨り荷主其者の利害のみならず惹きて當地將來の盛衰にも關する事項なりと信ず而して目下の代辦手數料は一件二圓の由なるも荷物の多少に依て當事者間の任意契約にて廉きものもある趣きなり現今取扱店以外の邦人にして之れに從事せる重なるものは宮原公司、三仁公司、德重洋行、大清通運、大星公司等なりとす

文苑

皇帝（一）　霧東生

世に幸なき人も多かるを今の皇帝の御身の上は別けて御痛はしふおもはゆれ身は宗祖の正統をうけつぎ玉いて十善の御位におはしましながら御親ら萬機を摂はすてとのかなわで己が治ろしめすべき國は御母君なる西の大宮の御たなごころのうちにあるてそいとうたてき極みなれ
皇帝は年わかく天資英邁におわし內外の仰瞻動もすれば皇帝の御一身に集まらんとするものから西の大宮の御それみ殊に深く事につけ折にふれつゝひたぶるに皇帝の鼻柱ひしぎて物をも得言はぬよふならせ給はんことを望ませ玉ふ。西の大宮は素は貴き身分にあらず朝廷の恒例によりて若き頃貢女として南方より都に上りよろづ咸く豊かなる時の帝の御目にとまりて御垣のうちに移し植へられしが緣となり其容色と尋常ならぬ才とは後宮三千の寵愛を已が一身に集めし時の皇后の宮を東の宮とし已れ亦皇后の位に昇りて西の宮とたゞへ東西兩立して一帝に仕へけりかゝる間に東の宮は俄かなる病氣にかゝりて崩れさせ給ひ西の宮一人にて皇寵を專らにしてありけるが帝も亦久しからずして崩御し玉ふ、時の人は帝も東の宮も尋常の病にあらで毒を食膳に盛れて果て玉ひしにて其の毒は共に同じ人が盛りしなりと噂さし合へりしとか九重の雲深ければ事のよしはさだかならず。
○
咸く豊かなる世は穆々の御代となりつ穆々の帝は西の宮の生ませ給ひし處なればこゝに垂簾の政は初まりぬ御稱號も西の大宮と改たまり權勢は飛ぶ鳥をも落さんずる有樣にて百官屛息敢へて仰ぎ見るものなし日の光りの餘まりにまばゆければなりされど喬木には風多し穆々の帝は在位十三年にして果敢なくもかくれ給ひければ今の皇帝傍系より入りて大統を繼がせ玉ひけるなり

日報俳壇

課題集句選　其二

◎つく／＼と夕蟬を聞く端居哉　木嬰
山寺や木魚に和してせみの聲　同
、峯をなすその雲の端の光る哉　同
○雲の峰高きより崩れそめに鳧　同
招牌や龍の口よりくもの峯　同
、肥擔くはたかの人や雲の峰　同
、鐘つきの一人靜かに書寐かな　同
唐子等は去りて午睡の布袋哉　同
杣人や岩にひる寐のたか鼾　同
、船頭の鬢おそろしき午睡かな　同
、持前の聲なからさて蟬時雨　小僧
鳴せみに行商人のいびきかな　同

正誤　旅にして蟬なく山路暮んとす　木嬰。

營口實[illegible]

穀物相場（五日）

品名	單位	兩錢
青豆	一石	六、〇六六
黃豆	仝	六、〇七五
黑豆	仝	六、〇二五

綿布相場

品名	單位	兩錢
大鹿	一疋	四、〇九五
雙狗頭	仝	四、〇七五
盆大牛	仝	四、〇五

綿糸相場

品名	單位	兩錢
老人馬	一疋	四、〇五
金奎鼻布		六、〇〇
藍團龍票布		五、〇五

綿花相場

品名	單位	兩錢
彩美人	一捆	七、五〇三
人担茶	仝	七、五〇〇
紅人竹	仝	七、五〇五

	兩錢
內地向	一、〇五〇
上海向	一、七〇七五
天津向	一、〇三五
芝罘向	一、〇五〇

（軍票百圓）（銀百弗）

淡谷
本號開設營口東青堆子發賣栢木方料栢木元料[illegible]木油松方料元木大小[illegible]

晴
自八日午後六時至九日午後六時

短篇小説

夏木立　上

ふみを

ゆふぐれ稍涼しさの肌輕く家前の立木の油蟬も聲を収めて、はのの色のおぼろ〳〵に床しい時刻。お蓮はうつとりと門に立つた。朝は篠芽晝は日ねもす夜もすから。町の浮氣ものや蓮葉娘はいざ知らず、我お蓮は大方の時、優しく少さい胸をいためては思ひ煩ふのが常である。親爺殿や誰彼。家族の人達か打揃つてゐる時でも、早うての中にあの松さんを容れたらばなぞ〳〵思ふ。皆が野良へ出て獨り居る時は元より、そつと口に松さん。なぞ〳〵呼びかけて見ることもある。それも道理、この片里に人と成つて、もの交りのせぬ乙女心の我連添ふ人と極められた許嫁なれば一圖に思ふか當然。況してあのやさしい松さん、もう野良からかへる時分よと氣か付くと、兎角尻は落ち付かず我とはなしに門へ出たのて、けれどもそれが迎へに往かうとか何とか確とした心組かあつたのでは勿論ないが、そぞろ夕風に袂を任せて、つい心か身を歩ませる。家の少い例の田舎道、とぼとぼと流れあるきに人を思ふ心も直な通りを往き盡すと、野道兩方に跨つて、今入りかかる日の名殘、夕映の紫、美しい片方を往かうとして夕日を後に黑い姿を行方に見た、どうも似てゐる。よう似た恰好と立止つて見る日を眞面にうけた顔の美しさ。

「蓮さんでねえかよ」

まぎれもない松さんの聲に

「松さん、今來ただか」と驅け寄る。

「どけえ往くだあ」と問ひかける。

双方の聲か衝突つて互に答への出し端を外して了つたので思はず聲を立て丶わらひ合ふ。

「お前迎へに來ただよ………」と低く〳〵

「さうかい、晩餉濟んだか腹減つてるべにに」

「………妾、日暮れねえ中は喰べねえの、いつで………」

「何で?」

「………」つと男の顔を見上げながこつらそり笑つて「だつて松さんも矢張り喰べねえだもの」と云ひ〳〵歩き出した。

男はさも嬉しさうに驅け寄つたが「蓮さん」と何か禮ても云はうとしたのを打消して、

「けふは暑かつたつぺえの」としみじみ。

「あゝ、だけんど、もう明日の事だでの、蓮さんか思ふやうには感じねえだよ。そんはさうと、もう四、五、六、六日になつただあよのう」とこの時まで〆めてゐた鉢巻を脱して肩にかけなから、晴れやかな樣子。

「あゝ………」とこれもうれしく差しく、互に顔を見あはせて打笑ふ似合はしさ。

松と蓮とは隣同士の家に生れて幼いからさへ戀ならぬ仲好。一緒に田の土を堀つて蓮華草の床に寢返つた仲。どちらの親爺も子煩惱。誰彼といふよりは年頃も似合の末は必ず、貰ふべえ、遣るべえと言葉つかへたそれか、やうやうかたまつてあと六日たてば、松さんはお蓮か家の後繼者となると極たけふ此頃。いままでは畑の畔に惡まれ口も云ひあつた二人が、俄にあらたまり合ふやうなまだ耻かしいやうな、それにいままでとは違つた懷かしさ、慕しさも添はつて廣々と眺界のひろい木槿徑を肩押並べて歩みゆけば、早夕日は背後から落ちかかつて二人がかげぴつたりと長う戀の紫、情の紅、永久な色を見せつつ畑と共に野と共にやかては里も朧のかげに包み裹んて暮れてゆく。

雜報

●ロセツタ丸歡迎　愈々明後十一日午前六時十分を以て來營すべき巡航船ロセツタ丸乘船視察者に對し瀬川領事始め正金中村、三井遠藤の三氏は特に乘船客四百名を招待し粤東會館にて茶菓の饗應をなすと又日本人會評議員其他有志の側に於ても大に犒はんが爲め昨今協議中なりと尚又永世街安藤誠一氏は支那製扇四百本寄贈方を本社内山田千秋に依頼し來たれり

●女喰ひの峰次　元神廟街某工程局に勤むる小山の峰次とか云つて幡隨院長兵衛の乾兒にでもありそうな二十五六の男、國には妻子のある身にも拘らず南永世街の下宿屋丸屋の下女お何と好い仲になりて主人の眼を忍びては其處の軒下此處のチヤン宿に密會せしが度重なつた天罰にはお何が腹に因果の種を宿し今は袖にも藏されぬ始末となりたればお何は此のお腹の兒は如何する積りです峰次さんえ早く何處かの一間でも借りて此子の生れ落ちた顔を夫婦で眺めたら如何なに嬉しかろうにと責むるに傍からヤレお金とか何とかの難題を持懸けるにぞ峰次も今は五月蠅く思ひお何には面も見せず某所の技師の下女に乘り替へんと口説しもお何との關係を知り居る下女はイツカナ取合ず空吹く風と聞き流して仲々落ちそうにもなければ峰次は飽まで下女を物にせんものと幾度か前記技師の所に來り下女の部屋を覗き居りしを家人が見止めしこともありしも家人は下女の情夫ならんと態と遠慮して之れを問はざりしが今に下女は靡く樣子もなかりしと風呂屋で人の話を書くの如し

●猶斷ならぬ情夫の魂膽(遼陽)　藝妓の情夫は板公に限ると豊敢粹の神の憲法にある譯でもあるまいに滿洲不見轉藝妓の常として何つも板公に關係を持ち終に魅せられて餌食となるも不審議なれ並に遼陽遼塔ホテル抱藝妓の秀鶴事本名中村コナツ(廿才)と云ふは去る四月大枚三百圓の前借金にて遼塔ホテルに抱へられたる時證人として從兄と稱する松本伊三郎なるものを立てたるに從兄とは大の詐にて此松本伊三郎こそ秀鶴の爲めには切つても切られぬ情夫にて隙さへあれば秀鶴は人目を忍びて遣引し眞面目に藝妓稼をする氣色なきより遼塔ホテルの主人は屢秀鶴に向ひ浮名立ちては双方の不利益數ケ月辛抱せば借金は愚か少々の貯金も出來る故それ程惚れた仲なれは次第によりては力を添へ遣るとて誠意を籠めて意見すれとも馬耳東風的によりては二三日間雲匿れとなり其筋を煩したる事さへありたるより秀鶴の他出する時は必ず人を添へ警戒する程なりしか過る演藝會後秀鶴は入院する事となり五十日餘を經て此程退院し入院料は今後眞摯に稼ぐと云ふ條件にて遼塔ホテルに於て取替へたる其翌日亦もや秀鶴は雲匿となり影も形も消へ失せたれは遼塔ホテルの驚き方は一分ならす人を四方八方に馳せて搜索せしも容易に分明らざりしか遂に滿月と云ふ魑魅魔窟の一室に潜伏しありたるを突止め其筋へ取押方を願出てたる由にて情夫の松本伊三郎は目下常盤の板公となり右手に庖刀左手に采配を採り始終秀鶴を指揮號令し遼塔ホテルと大決戰をなし此期に勝負を決する樣言觸れおれりと言へはて丶一番見物なるへけれと情婦を餌にする意氣地なさ不甲斐性なき腐れ男とは此事なるへし

●營口座のぞき　むらさき

▲余は一昨夜營口座に於ける切狂言「劍の花」をのぞき見したが、嘗て聽き又豫想せし程の悲觀すべき演劇ではないと思ふた、然し何を云ふにも一切の設備は不完全極まり加ふるに觀客は少ないと云ふので到底役者が思ふ存分の腕を奮ふ事の出來ないのは當然で看客も少しの注意を以て見なければ可愛想である、又一方から役者が看客の程度を計らずして無茶に藝題を撰へるは其自らまねける事であつて其責は當然負はなければなるまい、要するに程度は異なるし從つて役者も不熱心となるし遂に大なる非難且失敗となつたも無理ならぬ事である

▲余の見たのは二幕目からで即原田鶴松が惡漢眞島剛造に前妻取返しの談判の塲からであつたが、前後六幕の切舞臺で余は出來なかつた、がともかく其筋によれば原田兄弟が眞島に受けし名譽と義理とを復讐したと云ふので時代物を當世物としたのであらうが、余は其内に殆んど何等の趣味も變化も演劇として見出し得ず斯くては後の二幕の切合の塲等は全然兒戲に等しきを感じた

▲元來六幕の外なき劇の中に二幕の貴重なる舞臺を刄傷の塲等の無趣味なる舞臺にとれるは非常の遺憾であつて演劇の價値も是に至りては窮まれりと云はなければならぬ又他の幕にせよ何時も雅境に入らんとして刀等振りまはして破壞してしまうが如きは實に甚だしい誤りではあるまいか、これは必ずしも役者の責ではあるまいが、依然かゝる脚本即藝題を撰んだ罪はまぬかれまいと思はれる　(つゞく)

投書かご

▲僕は此間日營ホテルに行いたら入口に何番には何樣と泊り客の名を書いてあつたが他の旅宿もまねしたら訪問者にたいへん便利だろう(訪問者の一人)▲豫後備軍人諸君へ、滿洲豫備軍人會を設立して相互の親睦を計たらどうでしようか(豫備軍人)▲私の家のボーイが棒先をはねていけませんが何かいゝ薬はありますまいか(東の者)記者曰くあります謝金百圓をお送りなさいお知らせします▲お春さん又病院へ避暑旅行に行きましよ、じやありませんかあの先生が親切だから、ほんとに家へ歸つたような氣がしますわ(梅○樓花子)▲營口青年會の有名無實な事は實になげかわしい青年諸君大に奮興しようじやありませんか(一青年)▲貴社の理髪賃と風呂代の價下説に滿腔の贊成を表す此際理髪代三十錢鬚剃代十五錢風呂代五錢に斷行せよ然らざれば組合以外に同業者の營業を許可せられたし(一生)▲先月廿五日入港の竹島丸で來られた一等の別嬪さんは毛唐さんの洋妾とばかり思ふて居ましたが當地でウラ若い人と手を引き合ふて散歩せられる處を見て人に聽いて見たら瑞井の糸尾さんのホントウの奥さんでしたのでホントウに吃驚しました(三田人)

廣告

緊急廣告

近日我第二艦隊入港の筈に付下士以下の諸君へ物品寄贈致度候間有志の諸君應分の金員御寄附相成度希望致候

追て左の通御承知相成度候

一、締切は本月十一日迄

一、寄附金は牛莊日本人會山田へ御届相成度候

一、芳名及ひ受領證は滿洲日報へ掲載すること

明治三十九年八月　發起人

與倉喜平　瀬川淺之進　黒澤禮吉　中村錠太郎　遠藤藤次郎　神野良　平岡佳吉　佐藤寬次郎

寄附金者芳名

百圓　正金銀行

百圓　三井洋行

計二百圓

法學士 辯護士　値賀連　大連大山通二丁目三十一番地

目下當地左の出張所に居住す

營口永世街第二號ノ二(金城館ノ南隣)

近江病院　永世街二本町

院長　近江周友

副院長　增田八郎

内外科梅毒婦人科眼科胃腸病專門　午前宅診 午後往診

入院治療諾す

但輕便入院法あり來談を乞ふ

牛骨　平井牛次郎　急性肺炎に罹り療養中の處養生不相叶本日午前八時死亡致候間生前辱知諸君に謹告す

八月七日　友人

遺骨は火葬の上本願寺出張所に安置せり

滿洲第一湯崗温泉

風景佳絶、旅館、料理、遊技完備

効能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡

營口―大石橋―海城―湯崗温泉全停車塲―遼陽―奉天

料理　滿月　平野町(電一六二)

滿月支店　平野町入口　店主 青木勝惠

各國最新流行形　西海洋服店

街一四一(電話二百十七番)病院二軒目

電話至急讓受けたし　御不用の御方は當局へ御知らせを乞ふ

元神廟街　飯塚工程局

社告

一週年大福引會豫告

今回本社創刊第一週年記念として聊か讀者諸君平素の御眷愛に酬いんか爲に大福引會を催し多數の讀者に一人も漏れなく景品を贈呈するの方法を採ることに致しましたその景品中の重なるものは

一等　金時計(天賞堂保險附)　一個

二等　貴婦人用帶地　一筋

三等　純金指環(白木屋吳服店 大西白牡丹製)　一個

四等　上等洋傘　一本

五等　縮緬兵兒帶　一筋

六等　縞毛布　壹枚

七等　フランネル單衣地　壹枚

八等　勸業貯蓄債劵　壹枚

九等　巻煙草入　壹個

十等　言海　壹部

(十一等以下は漸次發表します)

等てあります、月極讀者は勿論、後滿一ケ月以上本紙愛讀の方には周く福引劵を配布します、景品陳列及び抽籤方法等の巨細も亦追ゝと我紙上に掲げます

有志家寄贈副景品

▲白米　一俵　第三樓

▲八丁味噌(大樽)一丁　金城館

▲手拭　十反　日本館

▲エジプト紙卷煙草五箱　第一樓

▲縞縮緬上等兵兒帶一筋　奉天金城館

▲臺灣製夏帽子十個　醉花園

▲玉突劵五十枚　第二軒

▲平野水四ダース二箱　東邦亭

▲エジプト紙卷煙草二箱　三日月樓

▲澤庵漬一樽　公樂園

▲麻製ハンカチーフ五ダース　東雲館

▲麻製ハンカチーフ五ダース　大和館

▲敷島紙卷煙草二十入三箱　萬直し

▲上等西洋料理劵三枚　牛莊ホテル

▲リンネル上等洋服一着　富永洋服店

▲上等セル地婦人單物一枚　祇園閣

▲舶ランプ三個　三友洋行

▲吳服劵三枚(五圓、三圓、二圓)　玉井洋行

滿洲日報社

煉瓦販賣

上リ竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ

二本町　高坂洋行　煉瓦製造部(電話九十番)

硝子、陶器、藥種、雜貨、質商、魚菜ラムネ、橊柑水製造販賣並に清酒金水、龍印特約一手販賣其外洋酒類

特にラムネ及橊柑水は夏季の飲料用として原料を精撰吟味す

遼陽西門外街　林洋行

盛海洋行

營口永世街

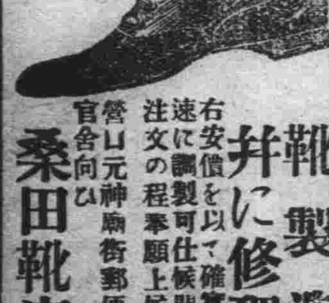
玻璃　玻璃器　洋燈

廣告

明治卅八年末より本年七月の間に於て軍用準備塲の名義を以て代議士降旗元太郎君會計佐志雅雄氏資本主清國人との協同營業に係る擴復州五湖嘴東關湖の賣買幷びに業務取扱ひの件中資金の費消、決算の未了苦力賃の不始末一重轉賣等の儀に就き拙者が曾つて右事業の一部に關係したる爲め辱知諸君より異樣の御質問を蒙り一身の名譽上迷惑不尠拙者は右樣の不都合なる行爲には全然關係責任なき者に有之候間右爲念茲に廣告致候也

明治卅九年八月五日　東菊松

會席料理　三日月　營口警務課前南江入る



靴製造幷に修理

右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也

營口元神廟街郵便局官舍向ひ　桑田靴店

諸毒下し **毒掃丸** 一名一ヶ月丸

梅毒そう毒しつ毒胎毒よこね、かんそう其他諸毒又ハのぼせ頭瘡頭手足に腫物生し困難なる人一日も早くためし見よ

軽症ハ二週間重きも一ヶ月間ニて全治すべし故に一ヶ月丸の名有り

大日本帝國東京市山崎帝國堂大藥房製劑 **毒掃丸**

本劑實爲梅毒專治之靈約故瘡毒、楊梅瘡、胎毒濕毒、淋毒、天梅毒、便毒、痔瘡、及筋骨痛梅毒性咽喉爛及口中紅爛先天及後感梅毒性眼疾頭痛耳鳴等症服本劑其効神速的確恰如操左券凡用本劑者病毒輕者則二禮拜乃至四禮拜全癒重者則百日乃至百五十日除根萬無一悞若無病之人服常本劑能快通大便排泄百毒庶足以徵其効驗也

●●定價四日份 三角 一禮拜份 五角

總經理批發 營口永世街(司法部前) **回天堂三木大藥房** (電話白九十番)

廣告

高等**麥酒スペシヤルライト**

スペシヤルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

本月一より麥酒取引は一切現金にて御願申上候

六月

釀造元 **大日本麥酒株式會社**

滿洲一手販賣店 營口元神廟街 **關東公司雜貨部** (電話五番)

分店 奉天四平街電話十三號 **關東洋行**

ペンキ塗請負 京阪組

營口豐濟門街三十一號

臨時出張所 鐵嶺正金工場内 新民屯泰東公司内

醇良日本酒 金露

大販賣 サツポロビール 孔雀印平野水

和洋雜貨 洋酒化粧品 **千賀洋行** 奉天鐘樓南大路西

酒類 食料品 **千賀洋行支店** 奉天小西關大街路北

軍隊用雜貨 日用品雜貨 呉服太物類 化粧品類 陶器類 食料品類 卸小賣

石原商店 營口永世街七十號(第二市場東)

其外新荷着精々安價販賣

營口 雜貨 洋酒 煙草 卸シ 小賣 大連 南洋 湖北 彩票 販賣

西北街 周 **裕和盛** 電話八一

罐詰 紙 化粧品 特ニ安賣 東清鐵道 遼河 貨物運送

御料理旅館 **三河樓支店**

弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二階屋新築し樓上等も署に涼する設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上

樓主 川上總吉

祝開業一週年

繫亭開業一週年の祝意を表し豫て福引御料理ニ上申居候處不斗も各位の御好に相叶ひ非常の御愛顧を蒙り千萬難有御禮申上候て華客様の御勸めに從ひ猶本月十五日まで延致し更に新顔の藝妓をも相加へ殊に時節柄料理一層注意仕且つ板場は生粋の江戸ッ子庖丁の切口御賞翫下され度續々御來の程伏て願上候

福引會席御料理 壹圓

左の十二月に分ち御引出の籤に當りたる月に依て差上可申候

正月 ビール二本 會席五品 藝妓一時間
二月 會席五品 御酒一本
三月 會席五品 ビール一本
四月 會席五品 御酒二本 敷嶋たばこ一
五月 會席五品 ビール一本
六月 ビール二本 會席五品 藝妓一時間
七月 會席五品 御酒二本 敷島たばこ一
八月 會席五品 ビール一本
九月 會席五品 御酒一本
十月 會席五品 ビール一本
十一月 會席五品 御酒二本 敷島たばこ一
十二月 會席五品 ビール二本 藝妓一時間

月 日 營口豐濟門街 **柳亭**

祝開業一週年

開業御披露廣告

遼陽城外西門外街西へ入 和洋御料理 **遠山館**

今回皆様方の御勸により遲れ勝に開業仕候へ共料理と勉強と美形と待遇とは決してく遲れぬ様にと精々注意可致殊に一棟は西洋料理室の專用に充てコックも本國新來の腕利を雇入れ候へば美味は受合且輕便を旨とし一皿にても貴需に應ずべく候條陸續御來館の上御試し被下度奉希候以上敬白

御料理旅館 **扶桑館**

奉天大西關大什字街 第五分局千○六十八号

館主 堀田八ル 電話 号

改名業務擴張廣告

御料理旅館 **東來館** 遼陽陳家街破水門より東へ入る右側 元吐月改め

今回元吐月を東來館と改稱致候に就ては萬端を刷新すると共に業務を擴張し精々勉強の仕殊に御料理は輕便を主とし時節柄一層吟味調進可仕候間陸續御來館の程奉希候

遼陽兵站業務取扱所御指定旅館

遼塔ホテル 遼陽城外喇嘛塔下
遼東館 仝城内東街
滿洲ホテル 仝城内西街
浩氣館 仝城外喇嘛塔側
藝陽亭 仝城外西門外通
遼陽館 仝上
東洋館 仝城内東街
滿洲館 仝城内北街
梅迺家 仝城外西門外通

○板材木 ○蚊張 ○金物類 ○金庫 ○疊建具 ○花莚 ○椅子 ○テーブル ○ペンキ ○洋燈類 ○文具 ○鰹節雜魚 ○紙類 ○酢醬油 ○罐詰 ○其他雜貨色々

新荷着大安賣

營口西北街 石 **石光洋行**

遼陽西門外 **石光洋行支店**

土木建築並ニ測量設計請負 **志岐組** 營口青堆子綏定門外

資本金參拾萬圓 日清合股

營口元神廟街第貳九八號 滿洲昌圖株式會社 昌 **營口分局**

總局 盛京省昌圖府東街

既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司經官准認眞開辦左開生理

一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房

兼辦關内外鐵道又海外轉運(與大清通運公司連絡)東清鐵道沿路各站分局現方在設備中倘蒙惠顧務請貴客親自到本號房及各處分局賬房面議或書請白載路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包賠特此

新着 **關東公司雜貨部** (電話五番)

裝飾用品 洋食器 肉碎器 秤廿六貫以下種々 蚊帳及 夏帽子各種 戶田式濾水器 宇治新茶 ツルヤヤツカラー及 學校用文房具各種 手提金庫 コッピー用附屬品 各種複寫簿

白米、醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約 東京タクアン 其外和洋酒類

永世街第廿八號 **大原洋行** (無比廉價販賣す)

今般其筋の許可を得左の處に於て精良牛乳販賣仕候間多少に拘らず御試用の程奉願候

元神廟街二四九 (電話三番) **精乳軒牛乳販賣所**

◎**自轉車** 中古上等一輛歸朝に付廉價に讓渡 豐濟門街三八(第三棟橫丁南三丁)佐々木

牛莊松岡病院

内科 外科 眼科婦人科診療 入院治療を諾す

殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血清療法を施す

元神廟街第百三十四號 全科醫士 **松岡玄雄** (電話一五一番)

東洋雜貨 貨眞價實 **加藤洋行** 東海關後街

本行 天津 分行 營口 北京 大阪

病室增築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に増築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす

○全身魔酔○局處魔酔○嶄新器械○無痛手術○

○梅毒○婦人科○專門 ○外科胃腸病 **日本醫院**

宮門抄

十四日

商部　鑾儀衛　廂黃旗值日　刑部引見十名　巡警部十四名　工部四名　正白滿四名　火器營三十二名　壽耆謝署正紅漢都統恩　色楞額謝賞假一個月　恩桂公續假五日

召見軍機

商部遞封奏一件

上諭恭錄

十四日奉

上諭福建布政使着增韞補授王清穆着補授直隸按察使欽此

上諭倉場侍郎着劉永亨調補欽此

上諭福建布政周蓮着開缺欽此

上諭江西巡撫着吳重憙補授欽此

論說

論政府宜注意長江之亂

朱通孺稿

自揚州搶米事起。長江流域。亂耗紛傳。騰於報紙。今江西瑞昌縣之亂又作。蔓延湖北河南。傳言有衆十餘萬。難保無張大之詞。而觀黃州府之警電飛馳。張宮保之兵檄四出。（見北京日報）其緊急情形。已可想見。推其致亂之由。始則苛捐而招民怨。繼則誤殺而激民怒。有以釀之。（上海報云、江西瑞昌縣統捐局。因苛稅被毀。江撫飭九江府孫守。帶兵往該縣查辦。前月二十八日。孫守向洪下源進攻。遽發砲向村口轟擊。鄉民亦開砲還擊。互傷數人。孫守已專弁返九江。稟請潯道。增兵往援。現玉觀察。已添派常備軍三百名。星夜馳往。據瑞昌縣民來潯者。述及孫守往洪下源時。行經烏施鋪地方。距洪下源尚有一十餘里。誤以爲即洪下源　率行開鎗轟擊。傷斃無辜良民。四十餘人。該縣民心。因此不平。遂至激變。）聞亂民與官兵戰時。有旂曰官逼民變。因此不逞之徒附之愈衆。噫可慨也。夫長江一帶。素爲哥老會混迹之區。該會之匪。初皆下流社會。毫無智識。徒以凶悍無賴著。近日爲各黨人所運動。漸知有種種狂悖之思想。庚子之亂。大通麻城。首先起事。冀撲武昌。幸唐林事洩就戮。孤軍無援。其黨始互解。而餘孽猶蟄伏大澤。有釁即起。今匪股已竄至麻城縣之增搭汎。勢必有野心之哥老會潛附之。以利用此官逼民變之名詞。若不早平。兩湖之革命黨。從而煽之濟之。後患何堪設想。前年粵西之亂。黨人嘗派員往南甯柳州游說。濟以軍火後因地處僻隅。接濟甚難。而粵之三合會。又不及長江哥老會團體之固。黨人灰心。遂至無成。可爲殷鑒矣。政府日防革命黨之舉動。而各省亂事。實革命黨之引導綫。官逼民變之旂。又革命黨之前鋒勁旅。長江爲中國之中心點。武漢荊襄四戰之地。又爲長江之中心點。與粵西地僻而難接濟者迥別。英雄所見略同。政府視爲要地者。革命黨亦如之況革命黨之多。廣東而外即推兩湖。涓涓不塞。將成江河。星星之火。可以燎原願政府其加之意乎。凡事先責己而後可以責人。此次釀亂。實起於官。當先懲官而後懲民。善乎鄂督責贛撫之電曰。地方官濫殺無辜。邀功藏賞。當速另派廉正之員。前往解散。又諭統兵各員。只准堵禦不准迎剿。蓋亂以激成。恐再激之不可收拾耳。趁此亂事初起之際。政府宜速電該省督撫。先將釀禍各官。從嚴懲辦。情節較重之員。奏明正法。以釋民怒而靖民心。然後設法勸撫。免爲黨人覬覦之心。致貽巨患嗟夫。近日沿江各區所聞亂耗。不祇一處。雖旋起旋滅。何其內患之多。即亦中國之憂也。當軸者其知之否。

中外要聞

●青海改省問題　探聞政府議改青海蒙古爲行省陝甘總督擬改爲甘青總督以便辦理青海改革事宜嗣因甘督升吉帥與西甯大臣慶雲閣覆稱青海地濶人稀改省不易兼以欵絀益難著手應先從放荒辦起俟有成效再仿東三省例添設州縣綜爲整頓等語一時青海改省之論中止然俟端戴回京立憲發表改革官制之時聞青海改省之事尙須再行提議云

●兩關懷蒙事　理藩院尙書特圖愼於十二日蒙特旨召見　兩宮垂詢肅邸回京後整頓蒙古事件特尙書奏對爲時頗久聞特尙書係另有整頓全部內外蒙古要策上奏云

●新疆聯撫接篆　新疆巡撫聯魁業已接任署任巡撫陳[illegible]缺藩台吳引孫已啓程赴山東省親（吳係江蘇人因其弟仕山東其毋亦在山東故也）昨已奏報到京矣

●蒙王福晉之游歷　蒙古土爾扈特王現已入日本振武學校專心考究陸軍以冀卒業後編立蒙古練軍現該王福晉已由蒙古動身擬先到中國各內地游歷後再到日本考察學務工藝以便回蒙振興女學云

●江蘇藩臬更動先聲　江蘇布政使濮子潼乃伯近因年老多病請江蘇巡撫會同兩江總督代爲奏請准其開缺回籍調養大約不日即有事摺到京又聞南洋大臣另有一摺參劾江蘇候補道署臬朱之臻大致謂其雙目失明以致子弟任意招搖舞弊即請原品休致

●江督有實授消息　昨日曾得內廷傳出消息署理江督周玉帥前自被人指摘後政府頗留心考察其爲人近因辦理一切悉合機宜用人行政亦甚認眞現已擬保其實授江督之任日來外間傳說江督將次調動毫不確實洵係謠傳

●咨閩保護果樹　商部咨閩督文云據本部章京王大貞呈稱閩省興泉漳三府每因細故挾嫌釀成械鬪其風一開彼此互毀田業砍傷樹木以致一片森林竟成濯濯者如荔枝龍眼等樹皆係貴重果品逐年出產獲利最豐乃因鬪禍決裂相延至數十百鄉任意砍伐無遺擬請咨行轉飭地方官切實嚴禁明定專章出示勸諭將曠地遍栽樹木等情前來查閩省荔枝龍眼橄欖等果最爲擅名爲土貨出產之一宗乃因械鬪尋衅砍伐無遺此等惡習不特有礙林業且於商務亦大受影響現在該處鐵路擬辦漸有頭緒將來輸運利便於果品尤屬相宜已有之樹急應嚴禁不准砍伐一面將曠地講求種植以開利源爲此咨行貴署督部院查照分飭所屬照辦可也

●四省公濬衛河之提議　山東河務總辦彭守履謙近稟署東撫楊中丞略謂衛河水勢淺阻須引沁河之水以濬來源惟該河道經四省中間積淤梗阻不下數十處若節節疏通約需工欵四五萬金可否分咨三省公認果能河流貫通則振興航業實足挽直東晉豫四省絕大之利權並附陳衛河形勢考河源發於山西三股泉經河南衛輝直隸大名入山東界歷管陶臨清長城德州復入直隸界北趨天津中間受輝縣之雲門河淇安陽之恆河臨漳之漳河等水現歷四河水小灌注無多以致衛河淺阻等情楊中丞以所陳不爲無見且既關四省航業尤不可視爲緩圖已分咨直督袁慰帥暨汴晉兩撫查核復奪

●咨飭整頓關務　聞戶部咨照各省督撫略云查光緒三十二年本部具奏整頓關稅各關如有短征均係議令全數賠繳十成實銀所有從前減免成案一概不准援引並飭自三十年三月起責令各關實報實銷惟本屆關期報滿多有仍復照舊具詳竟置部章於不顧現當整頓庶務之際各該督撫宜破除情面認眞釐剔積弊悉予湔除若再强爲彌縫玩視奏章扶同徇隱等情定必據實奏參嚴行議處以儆效尤

●咨查熱河墾務　聞政府日前咨飭熱河都統迅將豐甯縣界海留圖地方墾荒事宜詳細查明現辦招墾情形繪圖聲覆以憑查核而免牽混

●道澤鐵路歸併京漢之歷史及現狀　福公司原係英意兩國商人組織一切事權向由發起人意國豪商路沙弟氏主持辦理戊戌年由丹徒劉鐵雲觀察爲之運動謀得山西潞澤各屬與河北彰衛懷三府之礦權中更拳亂該公司遂由路氏讓與英人專辦至廿八年夏間始由該公司派礦師利德赴懷慶府修武縣辦一煤礦名曰澤盛煤礦廠自開辦至今已閱四載用銀百餘萬兩雖深挖至六十餘丈仍未出煤現聞該公司以澤廠失敗擬將工程中止另覓他礦開採云

該公司按照合同本有修築鐵路通至最近水口以轉輸礦產之權故當開辦澤盛煤礦時即由道口鎮築一鐵路以達清化鎮附近之柏山村全路計程十英里有半已於去夏竣工無如該公司自開之礦尙無礦產可運該公司恐養路之費無着乃運動駐京英使要求外部將該路歸併鐵路總公司辦理作爲京漢支線一律裝客載貨其借欵合同大都以正太合同爲藍本借欵共英金八十萬磅實收九折週息五厘以三十年爲期按此計算是每年需付息四萬磅再加以養路經費約二萬磅共計六萬磅約合華銀四十餘萬兩而考其第一年車脚所入僅六萬餘兩是每年須虧銀三十餘萬兩也不知我國何以貪收回路權之虛名而代該公司每年負三十餘萬之虧累耶自去年該路歸併中國以後一切事權仍歸福公司主持盛宮保初派福建候補道程祖福觀察充該路行車監督程以該路局面太小到差後不久即告假赴鄂其所遺之差則由核算員朱敬彝代理朱於路事向乏講求且於合同中監督應有之權如考核帳目任用華員各節悉行放棄徒知敷衍洋人以博每月六百金之薪俸故失權愈甚事爲督辦唐侍郎訪聞已將朱撤委另札委前在粵省襄辦三水支路車務之黃贊亭觀察前往豫省接辦是差俾資整頓一切云

●遠東將來之嬗變　俄人名拔塞諾夫者夙以通曉遠東情勢聞近將其意見書稟呈參謀總長婆利蒙中將據述將來遠東形勢諒不出一六七年必有異常嬗變若不預備則禍患且不測因將左開數條陳述以資參攷焉亦綢繆未雨之意爾　一現在所有滿洲駐備軍止將三分之一撤回二分之一尙須以戰時中情態一律永久駐備以樹聲威而助方略　一國境各處尙須佈置軍隊以資防備其他所有各處要害皆應完全施設以固疆圉　一海參威定爲海軍根據地派駐有勢力之艦隊按俄國海軍殲滅略盡現在未有可派駐之艦隊有可派駐之艦隊按俄國海軍殲滅略盡現在未不如十年以後遠東形勢又有幾許嬗變在十年之前預言十年以後之事祇視其理而不揣其勢籌措制宜亦難矣哉　一海參威設備船塢造艦各工場並准外國知名之造船廠雖便建築其造船工場以獎興業　一西伯利亞烏蘇里等鐵路皆應從速添築複線　一海參威東察加尼哥拉普斯克等各埠架設無線電信局所

雜報

●邑侯怪症之傳聞　昨聞阜民傳說海城所來人云縣尊管公於旬前得一古怪症每入夕時即覺心內怔忡略無停息儼若虛弱病軀如以胆怯夜入鬼怪之鄉隻身無件而毛髮不時悚豎因而徹夜不眠用人邏守一合目即見若娘娘塑像怒坐床頭公乃心不自主神魂驚飛宛似夢中不能由己時則嗷號聲變遠聞一二里許附近衙署一帶之人民聆之咸爲怖悸未悉是何緣果相傳凡近海城人民罕不知者未識果有此事否

●假局騙人　昨聞本埠恩記魚舖由北城來一商客當升車時帶有銀洋參百餘元被沿路設局騙人各匪等所窺該客川布袋兼括布疋多件外以蔴索纏作井十字式終日坐守內一匪人近與攀談情意投洽漸爲傾蓋之交相見恨晚且共訴營業資財之底蘊匪乃自託云吳姓亦往營埠採購新奇物品奈隻身遠客所携貨財無以置戢時爲躭憂屬兄誠篤故相接友敢將資財附寘兄橐兩人牢守蓋爲穩便該客見其誠篤再四央求因將布袋解索展開吳卽出銀洋百數十元手宗貳百餘元幷附該客布袋置藏復用蔴索仍如前式纏之繫附坐旁客向吳曰我寓營埠東街恩記魚舖兄至彼假館後務向該舖造訪以便往來可也吳連唯唯凡於途中飲食週旋不啻骨肉迨至牛家屯將下車時不知吳之所往該客遍詢行人幷無知者乃將行囊運進埠內恩記魚舖假館時當午前客即向街市游行午後回寓問有吳姓來訪我否該舖人答曰無之客詑疑曰其錢尙留於我處胡爲不來詢取耶遂向衆人備述原委該舖執事人聞而駭曰君必爲設騙局者所騙矣速解爾行李檢驗便知客急將布袋取而開視內貯全係敗絮纏括坧塊客乃汗流浹背罔知所措而細審布袋蔴索雖屬相同仍有少異蓋該匪等非止一人早於該布袋繫附坐旁時預仿其式樣製妥乘客稍離坐時卽已易而去之而客以吳爲傾心之友互相顧守故不疑也想若爾人者雖身懼重險猶不悟爲陷阱且倚爲腹心之交可慨也夫

●防疫須知　頃者營埠惡疫漸生或傷暑或痢疾染此病者每日約有二人之多方今炎日酷烈恐繼此惡疫流行而且營埠最爲鼠疫易生之地一有不虞瘟疫蔓延慘毒所及不但染病者受其害即商業亦或因而滯塞非設法預防恐貽後患本職現偕同職員等杜漸防微亟亟以消除厲疫爲務況營埠人口不下數萬四方輻輳非仰公議會員與日本人同心協力爲能防禍於未萌茲叩公議會員及日本人深體此意與本職努力防疫是爲至盼謹將防疫各條開列於左

一　霖雨晴時各宜將家屋內外掃除潔淨

二　不拘中外人等有死亡者非經醫官查驗不准埋葬及火葬倘敢故違從嚴處罰若私自埋葬有密告者查實優賞

三　官吏巡視時患病者若有隱匿虛僞等情從嚴處罰若私將病人移置他處有密告者查實優賞

四　染病者收容避病院內將其家屋內外消防毒害有違拒者嚴罰

五　商民捕鼠近來減少軍政署特購備捕鼠器具分給各家極力捕鼠

六　殺鼠所用毒劑餌子係用毒藥配成鼠食必死人若誤食其毒亦甚切須加意防範若有小兒尤宜嚴防毒葯餌子式樣用法分給各家時另紙注明

殺鼠用毒餌子

毒藥餌子

毒餌子用法須知

一　此藥餌子毒甚鼠食卽死人畜誤食亦死切須嚴防有兒者尤宜嚴防

二　若誤食毒餌者速向憲兵分遣所告知救護

三　此餌子用時須在鼠物出入處捕串堅固或插地或插壁隙勿使鼠銜去爲要每用至十日持向憲兵分遣所更換新餌子但納付舊餌子時須將其餌子所墜落零碎者一併交納

四　此藥餌子鼠食必渴欲飲水切須將水甯等器蓋嚴若鼠斃水中亟將此水廢棄

營口軍政署

物價の市價

豆粕　豆油　麥粉　太米　[illegible]

爲換相場（正金銀行）

木局
東青堆子橋南
淡谷木局

昨日の氣温
最高温度八十一度八
最低温度六十三度一
昨年より　低七度二　高八度二

營口旅館料理店案內 いろは順

旅館 料理 第一樓 元神廟街九十六號（營口ホテル）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

料理 一力 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前（電話一六番、四四番） 店主 熊田象次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三丁程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の嶋 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 並に氷いろ〳〵 翁亭 營口元神廟街 店主 長谷川金次郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街（電話一四五番） 店主 弖山小みつ

料理 樂々亭 營口元神廟街 店主 武部貞

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一番） 店主 前田九一郎

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四番 店主 島田彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

旅館 品川館 營口永世街一六號

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一一三四 店和 末松信太郎

料理 醉花園 旅館 澁谷旅館 永世街百二十七番 店主 澁田留吉

奉天旅館料理屋案內

商人御定宿 瑞豊館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話□）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街北側 溫泉付大勉強キレーデチイシヒ（電話□）

旅館料理店 日清館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話□）

奉天兵站部指定旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五番）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

御定宿 第一東京館 奉天小西關第五分局八一〇 館主 松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑静を主として旅館を營業に罩ら御客樣の御便利を計り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 御料理 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話號）
今回弊館座敷增築の上清潔廉價を旨とし川魚（鰯井鯰蒲燒）等をも新調且つ仕出等致し御中喰には至極御便利に御取り計ひ可仕候多少に不係御用命の程偏に奉願上候

和洋高等御料理 遼東館 遼陽城內東街一八九號 電話 號

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口ブシツ定商會門街東 川鐵工所 喜所

和洋會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町 日本館（電話百三十）
各位樣

料理店旅館擴張廣告

奉天小西關新來當街々 御料理 本店 金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話一〇）

四方各位益々御清榮奉大賀候陳者弊店儀最に滿洲樞要の都府に當る當奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候大方紳士紳商諸彥の御引立を蒙り日に增し盛大を來たし從つて家屋手狹まを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來街に設け以て專門の料理店となし日本式ナ宴會（百人迄の設備有之候並）に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に衛生と清潔とを主とし精々勉強廉價に相務め可申候間倚一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候 敬白
追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は兩方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

營口永世街 御料理 支店 金城館（電話八三）
營口永世街 御旅館 支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理 支店 金城館
大連市吉野町 御旅館 支店 金城館

陽城內西街 御料理 盛進館 雜貨 井川商會 店主 北ツネ

和洋 御料理 御旅館 奉天軍政署指定旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大街（電話十四番）

日清倶樂部 奉天城內大南門裡大街（電話十五番）
麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髮 裁縫

氷卸小賣所

土木建築請負 煉瓦製造販賣 有馬組遼陽出張所 遼陽城內西街
雜貨卸小賣 主任 海南右門

滿韓境上唯一樂園 五龍背温泉

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絶佳今ヤ新綠滴タル下清流掬スベキノ仙境タリ
當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

營口唯一西洋式のホテルにて宿泊料は極廉なり
酒部屋及玉突理髮所の設備あり
食堂の外休憩所及應接室あり御會談に適せり
大集會御人數百名位の設備あり
遼河々岸 牛荘ホテル
アイスクリーム等の多少に拘らず御求めに應ず
高雅にして見はらし最良の景色に富めり
開業の披露として料理切手一千枚限り發賣す
第一等二圓第二等一圓五十錢第三等一圓

遼陽州官設醫院告條
一凡請診治到院掛號須在上午自八點鐘起至十一點鐘止藥資例取附銀隨意
一若有願鐲免藥資者須在下午到院掛號自一點鐘起至三點鐘止
一特邀醫官於其家者另繳規資一元以上但在下午三點鐘以後
一欲求診斷證明諸單及處方箋另付規費
一毎逢慶節及禮拜日一概休辦

石材 石灰 大販賣 英治洋行（營口西北街）（電話三二）

自造 煉瓦 ●瓦 並に各種石材販賣 營口青堆子 加州組（電話八十六番）

軍隊用雜貨 日用品雜貨 食料品種々 船來品類
其外新荷着船來品精々大勉強販賣
遼陽西門外筋 北原洋行

土木建築用諸木料 板硝子類 マルソイド便利瓦 九州セメント オールドスコッチウヰスキー
廉價販賣
營口青堆子綏定門外 志岐組 商業部

營口元神廟街 飯塚工程局材料部（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各產地と特約を詰び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碑石、煉瓦等
一日本石炭敷種

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨具他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

金升洋行 盛進商行

營口材木商組合
一杉丸太長一丈より五間迄末口一寸以上八寸迄各種
一杉樅栂松板類各種
一大小押角挽角小割各種
右廉價販賣
營口永世街 喜久洋行（電話一五二）

日本郵便局受拂軍票相場 金一百圓に付 一百二圓

日本品最近物價表

元祿網シャツ 八十錢
ヘルメット帽子 二圓五十錢
縞セル鳥打帽 一圓七十錢
セル地ジャーマン帽 二圓三十錢
皮製寢臺布團 二十圓
青酒澤鶴四斗入 大原洋行 十七圓
東京濱原(?)四斗入 五圓五十錢
…… 九圓
筍鑵詰三十個入 七圓
松茸仝四打入 十一圓
極上鮑仝仝 十七圓
龍神漬大五打入 十圓五十錢
仝小十打入 十一圓五十錢
喜撰新茶半斤入 仝 中
仝小半斤入 二圓五十錢
玉露仝 四十五錢
トランク 二十錢
…… 十三圓より
杉 四分板 營口材木商組合 一圓二十五錢以上
六分板 一圓五十錢以上
八分板 二圓以上
中貫 上 二十八錢
並 二十二錢
押角長二間 自三寸至八寸才 六錢五厘
仝 九寸以上仝 九錢